

第 22 回

江 東 区 政 世 論 調 査

平成 27 年



世界へ誇れる50万人都市へ

江東区政世論調査は、昭和48年から隔年で実施してきており、今年で22回目となります。

江東区の人口は、平成14年に40万人に到達した後も他に類を見ない速さで伸び続け、本年6月にはついに50万人に達しました。区ではこのような急激な人口増加や臨海部の大規模開発など、本区に大きな影響を及ぼす社会環境の変化を踏まえ、多様化する区民ニーズに的確に対応するため、「江東区長期計画（後期）」を策定し、区政運営の着実な推進に取り組んでいるところです。

今回の調査でも、「これからも江東区に住みたいと思いますか」という定住意向についての質問に対し、9割を超える方に「ずっと住みたい（住むつもり）」または「当分は住むつもり」とお答えいただきました。〔定住意向：90.2%〕これまでの取り組みを評価していただき、大変喜ばしいことだと思っております。今後につきましても、区民の皆様にとってより愛着を持って長く住み続けたいと思えるようなまちづくりに邁進してまいります。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいて江東区は全区市町村で最多となる8競技会場で、バレーボール・水泳・体操など数多くの競技が開催されることとなりました。5年後、世界各国から本区を訪れるたくさんの方々を、緑豊かなまちで皆様とともにおもてなしをするためにも「CITY IN THE GREEN」事業により区内緑化を進め、「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」として世界に誇る都市を目指します。

最後に、本調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民の皆様にご心から御礼を申し上げます。調査結果につきましては、今後の区政運営や施策立案の際の貴重な基礎資料として、活用してまいります。

平成27年11月

江東区長 山崎 孝明

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の要約	11
III	調査結果の分析	41
1	定住性	
1-1	居住年数	45
1-2	定住・転出意向	48
1-3	新たに住んだ区民と以前から住んでいる区民との交流	53
2	防災対策	
2-1	震災時の不安	57
2-2	震災時の備え	62
2-3	家庭内で準備している防災用品・用具	66
2-4	防災対策への要望	69
2-5	平常時に閲覧したい防災ホームページの情報	73
2-6	入手しやすい緊急情報	78
3	男女共同参画	
3-1	夫婦間の家事の役割分担	83
4	ごみ・リサイクル	
4-1	ごみを減らす活動の取り組み状況	89
5	南北交通	
5-1	南北を結ぶ公共交通に求めるもの	97
5-2	有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業についての考え	99
6	選挙	
6-1	江東区議会議員・江東区長選挙の投票の有無	105
6-2	「選挙公報」の閲読状況	112
7	区議会	
7-1	「こうとう区議会だより」の閲読状況	117
7-2	充実・導入してほしい議会情報の発信媒体	120
8	図書館	
8-1	区内図書館の利用頻度	125

9 広報	
9-1 「こうとう区報」の閲読状況	133
9-2 区の仕事や行事の認知媒体	135
9-3 情報を収集するための機器について持っているもの	138
9-4 区の情報収集するために必要なインターネット上のサービス	141
9-5 区政情報や区内のイベント・施設情報を動画や映像で見たいか	144
9-6 ケーブルテレビの視聴の可否	146
9-7 「江東ワイドスクエア」で興味のある内容	156
9-8 番組DVD貸出や区ホームページでの動画配信の認知状況	158
9-9 番組DVD貸出や区ホームページでの動画配信の利用希望	160
10 充実すべき施設	
10-1 充実すべき施設	165
11 施策への要望	
11-1 力を入れてほしい施策	171
IV 相関表	175
V 調査票の見本	241

I 調査の概要

1. 調査目的

江東区政の各分野について区民の意識や動向、意見や要望などを把握することにより、今後の区政運営の参考に資する。

2. 調査の内容

- | | | |
|--------------|----------|--------------|
| (1) 定住性 | (5) 南北交通 | (9) 広報 |
| (2) 防災対策 | (6) 選挙 | (10) 充実すべき施設 |
| (3) 男女共同参画 | (7) 区議会 | (11) 施策への要望 |
| (4) ごみ・リサイクル | (8) 図書館 | |

3. 調査の設計

- | | |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 調査地域 | 江東区全域 |
| (2) 調査対象 | 江東区在住の満20歳以上の男女（外国人を含む） |
| (3) 標本数 | 1,500人 |
| (4) 調査対象者の抽出 | <p>①母集団……………平成27年5月15日現在の江東区住民基本台帳上の満20歳以上の男女（外国人を含む）</p> <p>②地点数……………120地点（1地点12～13サンプル）</p> <p>③抽出法……………層化2段無作為抽出法（層化→地点抽出→対象者抽出）</p> <p>④層化……………1又は2箇所の出張所（旧出張所を含む）の所管区域を単位として7地区に層化（図1・表1参照）</p> <p>⑤地点数配分……………1地点が12～13サンプルとなるように、各地区の調査対象者に応じて地点数を比例配分した（合計120地点）</p> <p>⑥地点抽出……………各地区ごとの地点数に応じてインターバルを定め、等サイズブロック抽出法に従い、無作為系統的に各地点の抽出スタート点を決めて地点を抽出した。</p> <p>⑦対象者抽出……………抽出された各地点のスタート点より、1地点12票ずつのサンプルを無作為系統的に抽出した。</p> |
| (5) 調査期間 | 平成27年6月20日～7月5日 |
| (6) 調査機関 | 株式会社 エスピー研 |

図1 地区区分図

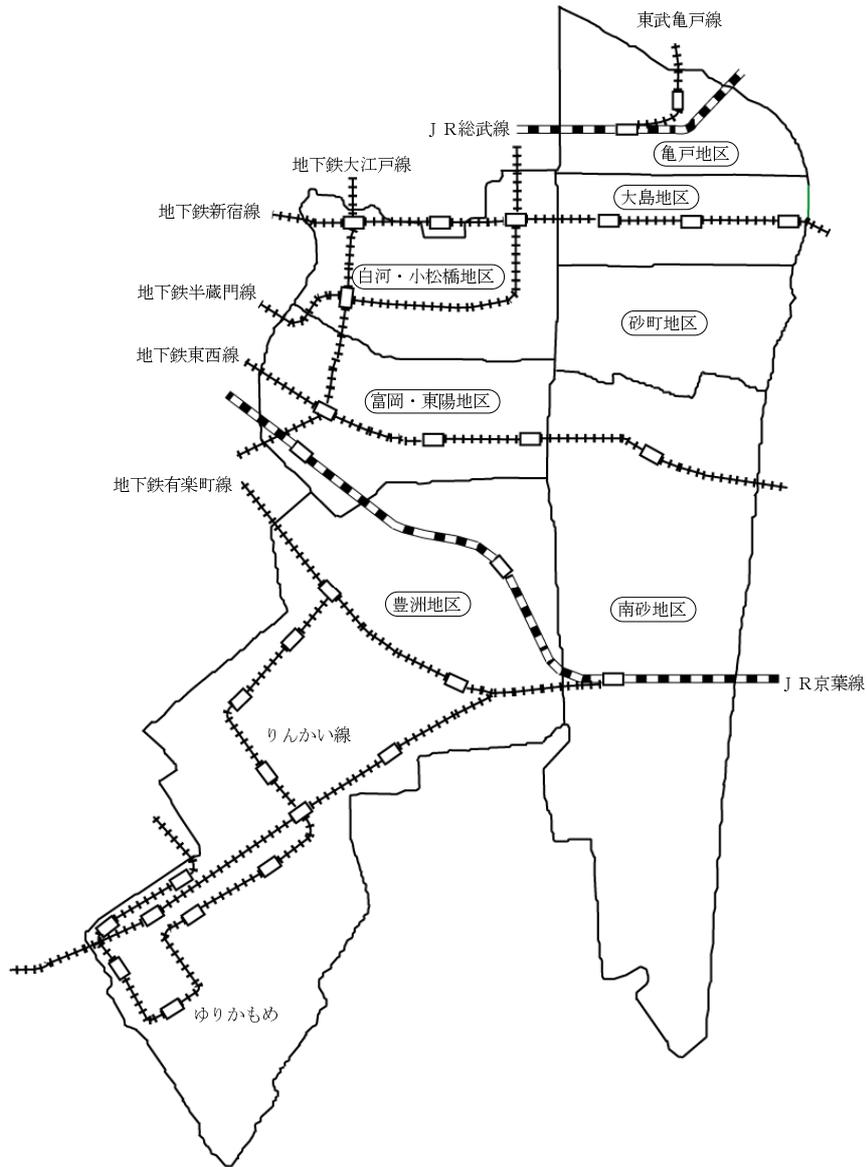


表1 地区・町丁名対応表

地区	該 当 町 丁 目
白河・小松橋	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋、千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富岡・東陽	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島、木場、東陽、南砂2丁目1番1～5号・5～7番、新砂1丁目1番
豊洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀戸	亀戸
大島	大島
砂町	北砂、南砂1・5丁目、南砂2丁目24～34番、東砂1～5丁目
南砂	東砂6～8丁目、南砂2丁目（1番1～5号・5～7番・24～34番を除く）・3・4・6・7丁目、新砂1丁目（1番を除く）・2・3丁目、夢の島、新木場、若洲

※平成27年6月1日現在

4. 調査方法

- (1) 実査方法 調査員による個別面接聴取法
- (2) 調査票 巻末綴じ込みの調査票を使用
- (3) 予告はがき 「江東区政世論調査のお願い」の調査訪問予告はがきをあらかじめ郵送した。
- (4) 再訪問 調査対象者が不在の場合は、日時を変えて3回以上訪問し、調査が円滑に遂行されるように心掛けた。

5. 回収結果

(1) 回収結果内訳

地 区	満 20 歳以上人口 (構成比)	標本数	有効回収数	有効回収率
区 全 体	376,940 人 (100.0%)	1,500	1,061	70.7%
白河・小松橋	61,080 人 (16.2%)	243	171	70.4%
富岡・東陽	54,039 人 (14.3%)	214	146	68.2%
豊 洲	79,685 人 (21.1%)	316	214	67.7%
亀 戸	43,371 人 (11.5%)	173	131	75.7%
大 島	46,871 人 (12.4%)	186	132	71.0%
砂 町	58,325 人 (15.5%)	233	169	72.5%
南 砂	33,569 人 (9.0%)	135	98	72.6%

(2) 回収不能数 439 票 回収不能率 29.3%

(3) 回収不能内訳

回収不能項目	件数	構成比
拒 否	112	25.5%
長 期 不 在	17	3.9%
短 期 不 在	268	61.0%
転 居 ・ 転 出	31	7.1%
住 所 不 明	4	0.9%
病 気 ・ 入 院 ・ 死 亡	6	1.4%
そ の 他	1	0.2%

6. 摘要と標本誤差

- (1) すべての集計表は、小数点第2位を四捨五入した。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基礎(n)として算出した。したがって、複数の回答の設問のすべての比率は合計すると100%にならないことがある。
- (3) 標本誤差(サンプル誤差)はおおよ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基礎(n)、及び②回答比率(P)によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数
n = 比率算出の基礎 (サンプル数)
p = 回答の比率

回答の比率(p) 基礎(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,061	± 2.6%	± 3.5%	± 4.0%	± 4.3%	± 4.3%
800	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
600	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
400	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
200	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%
100	± 8.5%	± 11.3%	± 13.0%	± 13.9%	± 14.1%

(注) 1. 表は $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$ として算出した。

2. 層化を行った場合、誤差は上表よりやや小さくなる。

3. この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が1,061人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも4.0%である。」

7. 集計・分析にあたって

- (1) 集計は、①単純集計、②フェイスシートとのクロス集計、③設問間のクロス集計の3種類を行った。
- (2) フェイスシート7項目およびそれに準ずる設問として2項目を採用した。
- ①地区別
 - ②性別 (F 1)
 - ③性・年齢別 (F 1 × F 2)
 - ④職業別 (F 3)
 - ⑤家族人数別 (F 4)
 - ⑥ライフステージ別 (F 5)
 - ⑦住居形態別 (F 6)
 - ⑧居住年数別 (問 1)
 - ⑨定住・転出意向別 (問 2)

- (3) 巻末相関表には、(2)の9項目を基本分類軸として掲載した。また、巻末相関表および本編中のクロス集計結果のグラフや表の分類軸は、無回答を省いたものを掲載している。
- (4) 分析に使用したパーセント表示は、全体については小数点第2位を四捨五入して小数点第1位を算出したものを使用した。また、クロス集計によるグラフ上で比率の少ないものは省略した場合もある。したがって、同一項目で小数点第1位と小数点第2位の四捨五入で数値が異なる場合や、回答比率の合計が100%にならないものがある。
- (5) 表中の数字で「—」（バー）はその項目に該当する回答がまったくないものを示す。
- (6) ライフステージの名称及び内容は以下のとおりである。

独身期	40歳未満の独身者
家族形成期	40歳未満のこどもがいない夫婦、または一番上のこどもが小学校入学前の人
家族成長前期	一番上のこどもが小・中学生の人
家族成長後期	一番上のこどもが高校・大学生の人
家族成熟期	64歳以下で一番上のこどもが学校を卒業している人
老齢期	65歳以上の人

- (7) 「調査結果の分析」の分析軸で、職業別の内容は以下のとおりである。

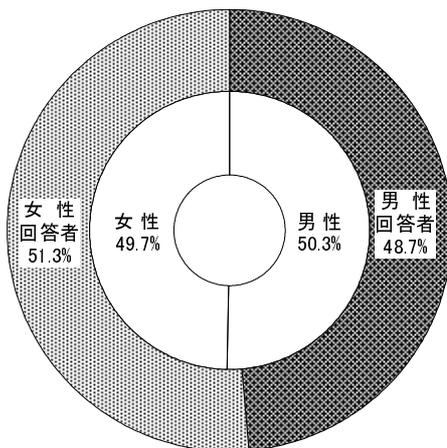
有職男性	男性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・技術職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
有職女性	女性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・技術職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
専業主婦	職業が「専業主婦」に該当する人
学生	職業が「学生」に該当する人
無職	職業が「無職」に該当する人

8. サンプル（調査回答者）特性

今回の回答者の特性は、下記のとおりである。なお、母集団とは住民基本台帳上の満20歳以上の男女全員である。

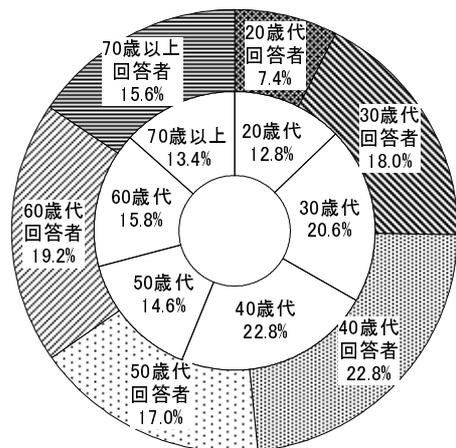
(1) 性別

◎母集団は男性の方が多く、回答者は女性の方が多い。



(2) 年齢

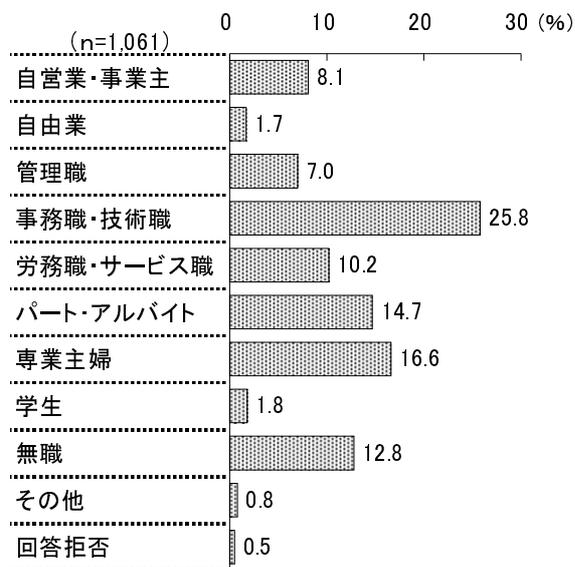
◎母集団の割合に比べて20歳代、30歳代が小さく、50歳代、60歳代、70歳以上が大きい。



(注) 内円は母集団（江東区在住の満20歳以上の区民）の構成比、外円は調査回答者の構成比を示している。

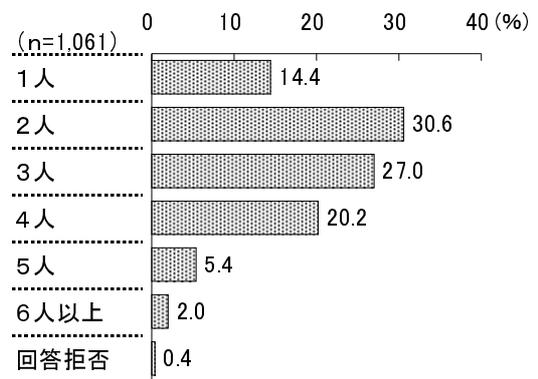
(3) 職業

◎事務職・技術職が多く、次いで専業主婦が多い。



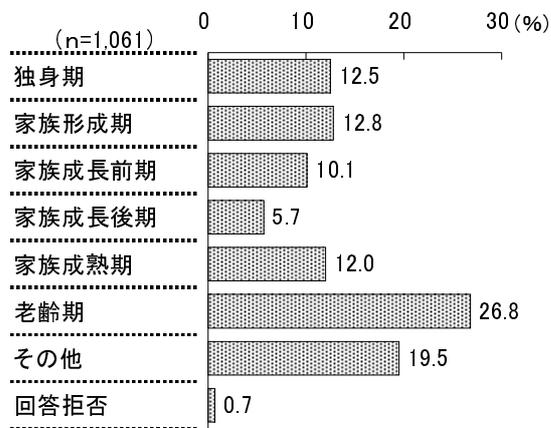
(4) 家族人数

◎2人家族がほぼ3割となっている。



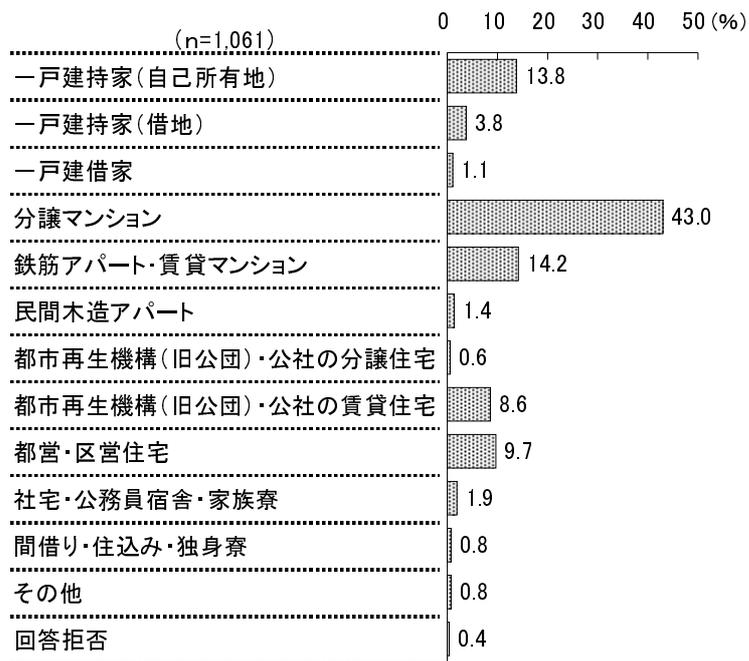
(5) ライフステージ

◎老齢期が3割近くとなっている。



(6) 住居形態

◎分譲マンションが最も多く、次いで鉄筋アパート・賃貸マンションが多い。

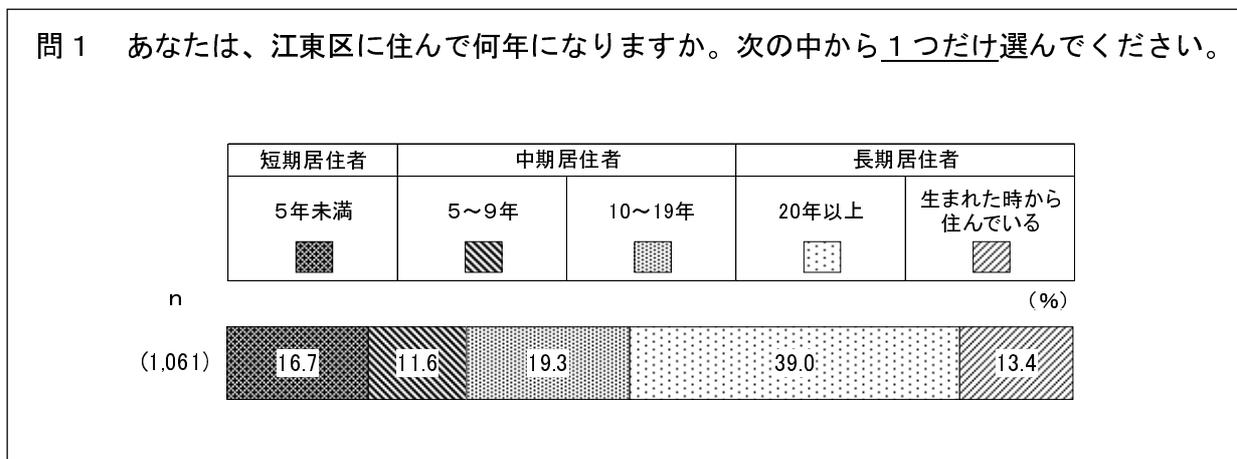


Ⅱ 調査結果の要約

1 定住性

(1) 居住年数

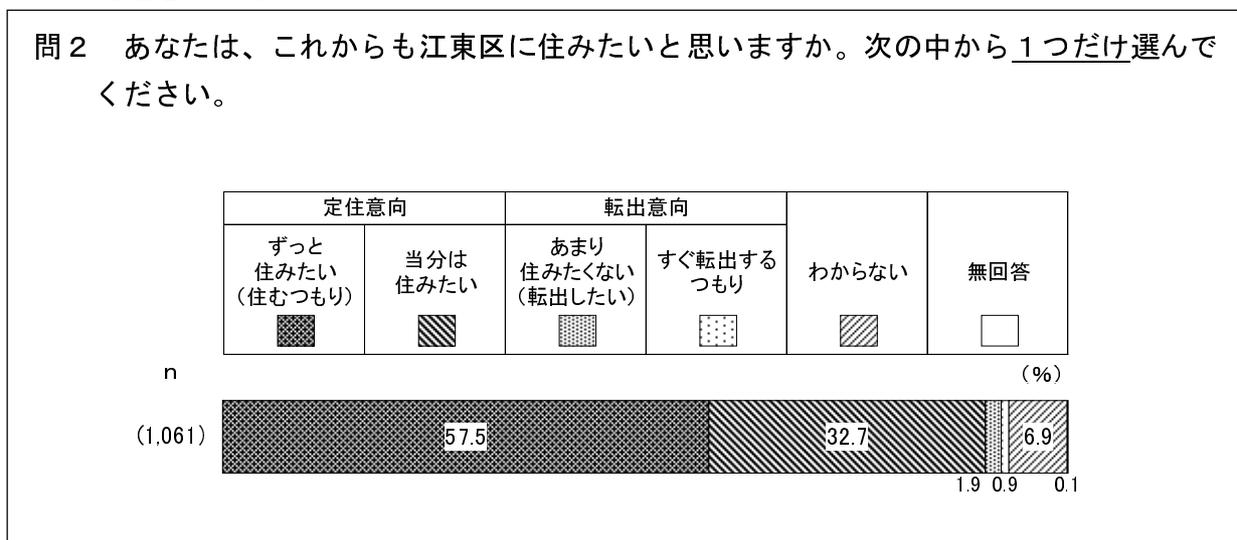
◇《長期居住者》は5割を超える



○居住年数については、「20年以上」(39.0%)と「生まれた時から住んでいる」(13.4%)の2つを合わせた《長期居住者》(52.4%)が5割を超えている。

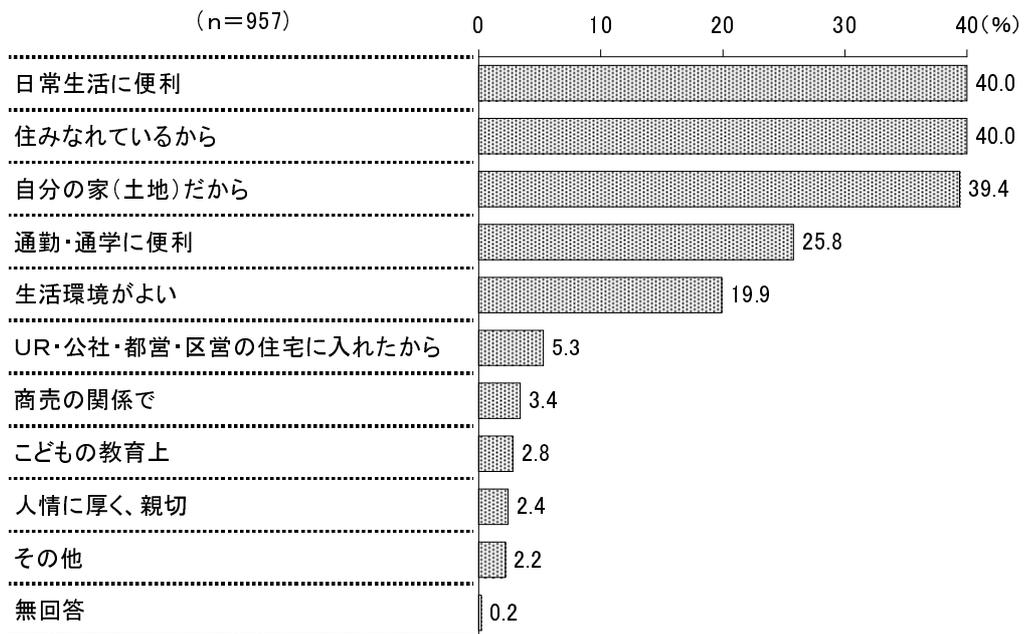
(2) 定住・転出意向

◇《定住意向》は9割



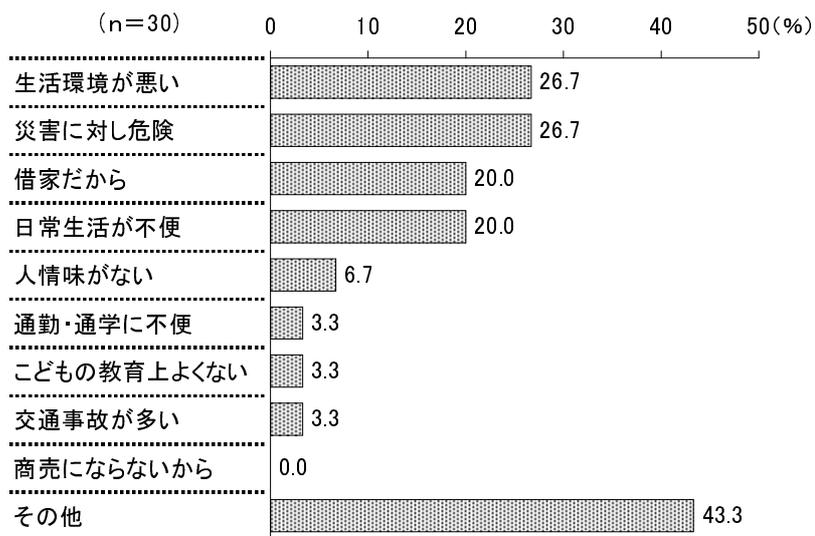
○定住・転出意向については、「ずっと住みたい(住むつもり)」(57.5%)と「当分は住みたい」(32.7%)の2つを合わせた《定住意向》(90.2%)は9割となっている。

【定住意向理由（複数回答）】（2つ以内で回答）



○定住意向理由については、「日常生活に便利」と「住みなれているから」（ともに40.0%）が4割で最も多く、次いで「自分の家（土地）だから」（39.4%）、「通勤・通学に便利」（25.8%）と続いている。

【転出意向理由（複数回答）】（2つ以内で回答）

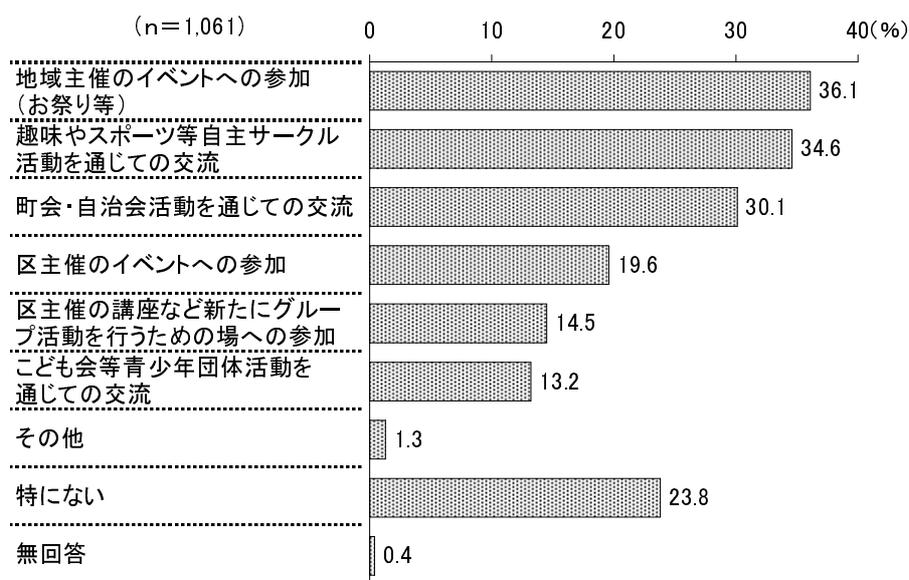


○転出意向理由としては、「生活環境が悪い」と「災害に対し危険」（ともに26.7%）が3割近くで最も多く、次いで「借家だから」と「日常生活が不便」（ともに20.0%）が続いている。

(3) 新たに住んだ区民と以前から住んでいる区民との交流

◇「地域主催のイベントへの参加（お祭り等）」と「趣味やスポーツ等自主サークル活動を通じての交流」が3割台半ば

問3 ご近所の中で新たに江東区に住まれた方と、以前から住んでいる方が交流を深める場合、あなたはどのようなことなら参加できますか。次の中からすべて選んでください。



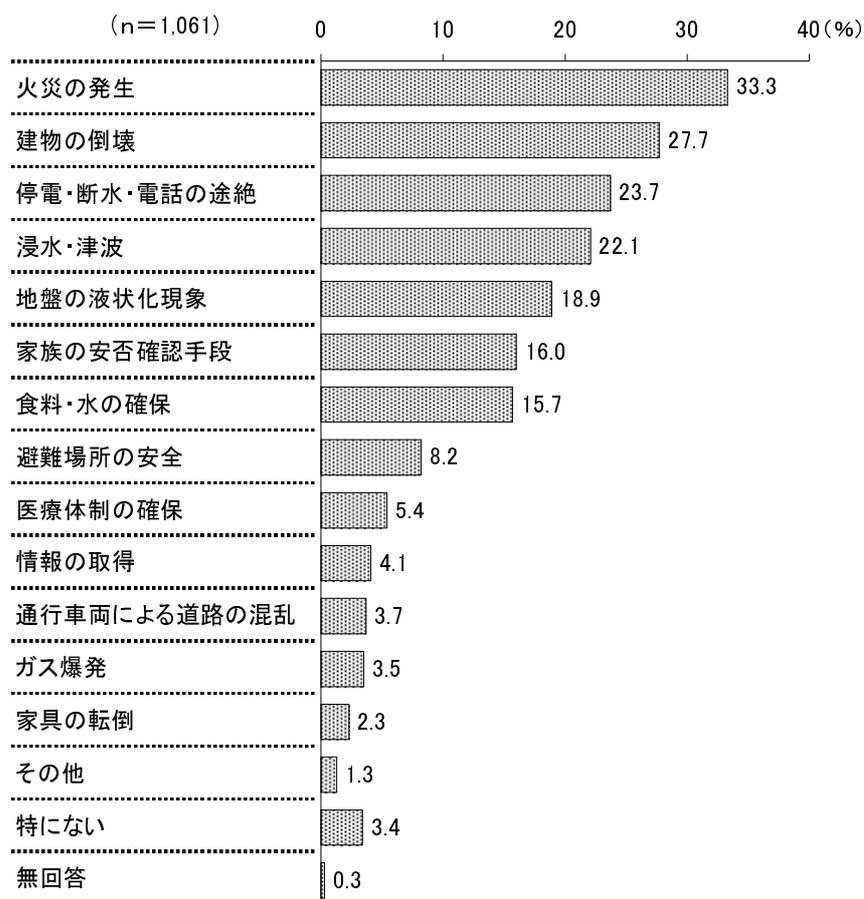
○新たに江東区に住んだ区民と、以前から江東区に住んでいる区民が交流を深めるために参加できることは何か聞いたところ、「地域主催のイベントへの参加（お祭り等）」(36.1%)と「趣味やスポーツ等自主サークル活動を通じての交流」(34.6%)が3割台半ばで多く、次いで「町会・自治会活動を通じての交流」(30.1%)と続いている。

2 防災対策

(1) 震災時の不安

◇「火災の発生」が3割を超える

問4 今後、東京に大地震が発生した場合、あなたが特に不安だと思うものを次の中から2つまで選んでください。

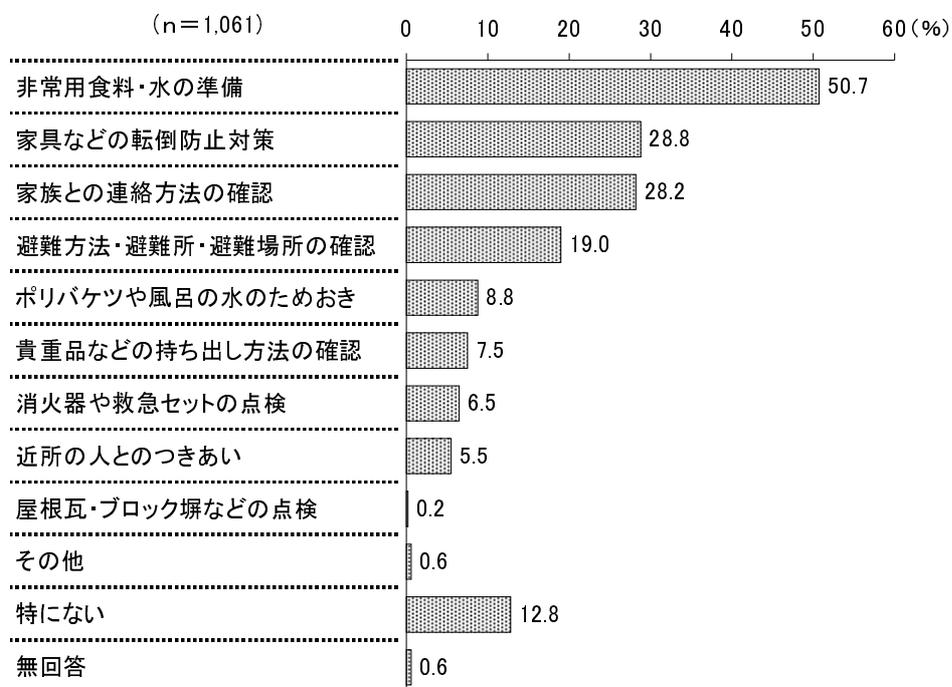


○大地震が起きたときに特に不安だと思うことを聞いたところ、「火災の発生」(33.3%)が3割を超え最も多く、次いで「建物の倒壊」(27.7%)、「停電・断水・電話の途絶」(23.7%)、「浸水・津波」(22.1%)と続いている。

(2) 震災時の備え

◇「非常用食料・水の準備」がほぼ5割

問5 あなたのご家庭で、大地震に備えて普段から特に心掛けていることを次の中から2つまで選んでください。

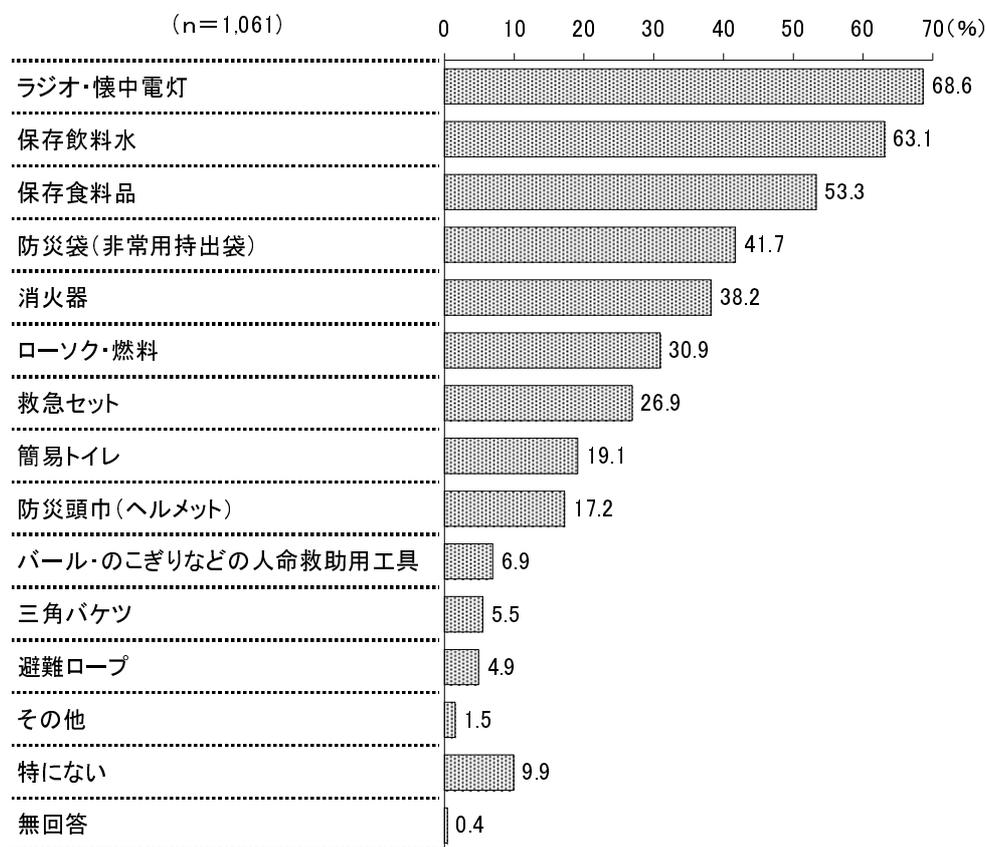


○大地震に備えて家庭で普段から特に心掛けていることは何か聞いたところ、「非常用食料・水の準備」(50.7%)がほぼ5割で最も多く、次いで「家具などの転倒防止対策」(28.8%)、「家族との連絡方法の確認」(28.2%)と続いている。

(3) 家庭内で準備している防災用品・用具

◇「ラジオ・懐中電灯」が7割近く

問6 あなたのご家庭で、災害に備えて現在準備している防災用品および用具を、次の中からすべて選んでください。

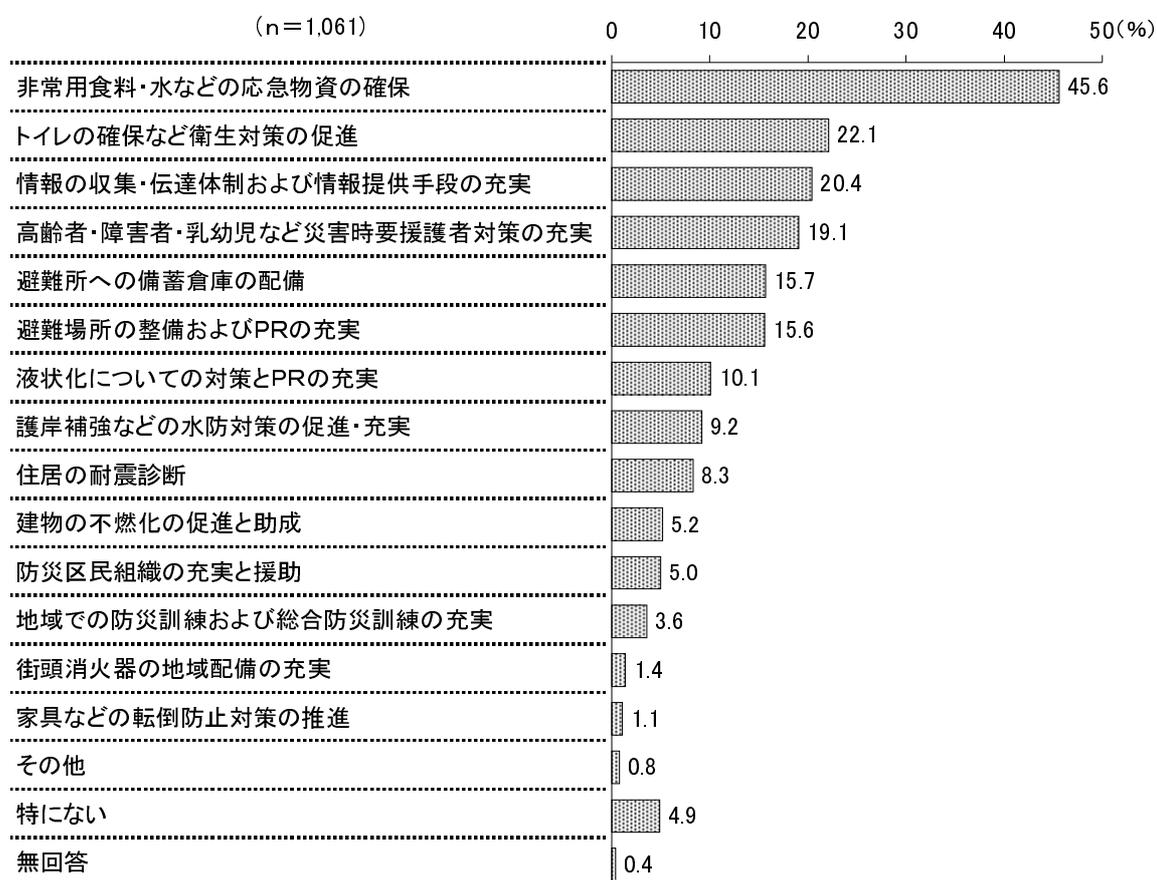


○災害に備えて家庭で準備している防災用品および用具を聞いたところ、「ラジオ・懐中電灯」(68.6%)が7割近くで最も多く、次いで「保存飲料水」(63.1%)、「保存食料品」(53.3%)、「防災袋(非常用持出袋)」(41.7%)と続いている。

(4) 防災対策への要望

◇「非常用食料・水などの応急物資の確保」が4割台半ば

問7 あなたが、大地震の際の防災対策として、江東区に特に力を入れてほしいことを次の中から2つまで選んでください。

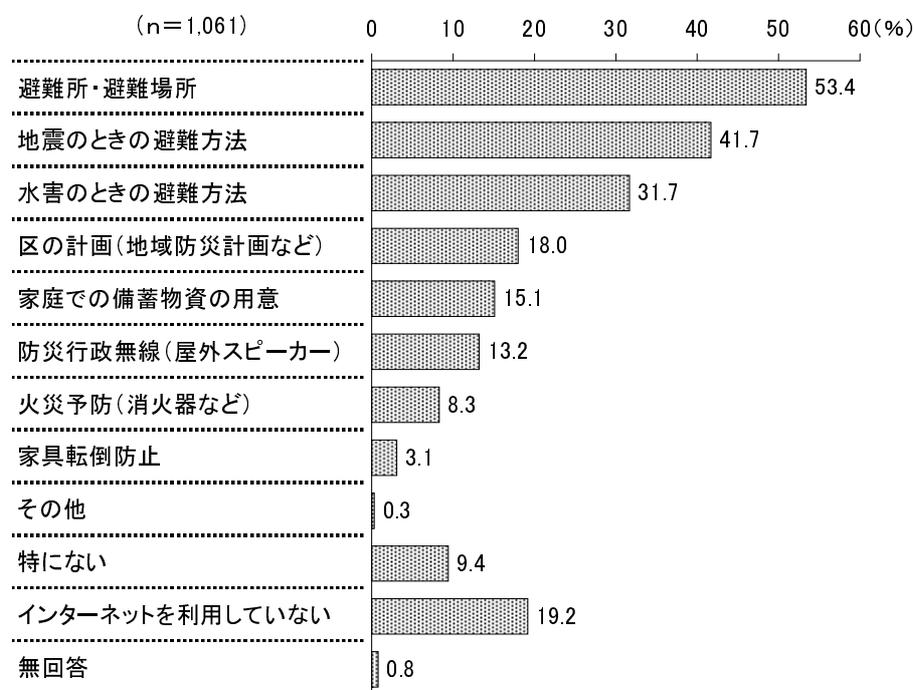


○大地震の際の防災対策として特に力を入れてほしいことは何か聞いたところ、「非常用食料・水などの応急物資の確保」(45.6%)が4割台半ばで最も多く、次いで「トイレの確保など衛生対策の促進」(22.1%)と続いている。

(5) 平常時に閲覧したい防災ホームページの情報

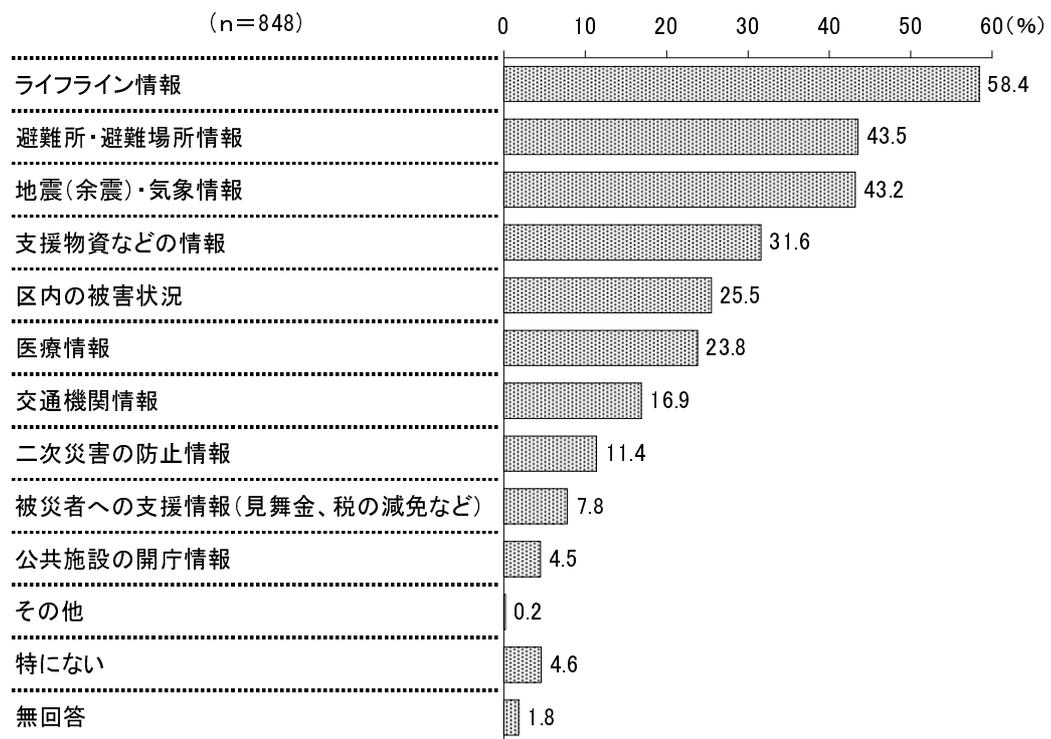
◇「避難所・避難場所」が5割を超える

問8 本区では、防災ホームページ（「防災情報 江東区」）を公開していますが、あなたが平常時にご覧になりたい項目を次の中から3つまで選んでください。



○平常時に閲覧したい防災ホームページの情報を聞いたところ、「避難所・避難場所」(53.4%)が5割台半ばで最も多く、次いで「地震のときの避難方法」(41.7%)、「水害のときの避難方法」(31.7%)と続いている。

【災害時に閲覧したい防災ホームページの情報（複数回答）】（3つ以内で回答）



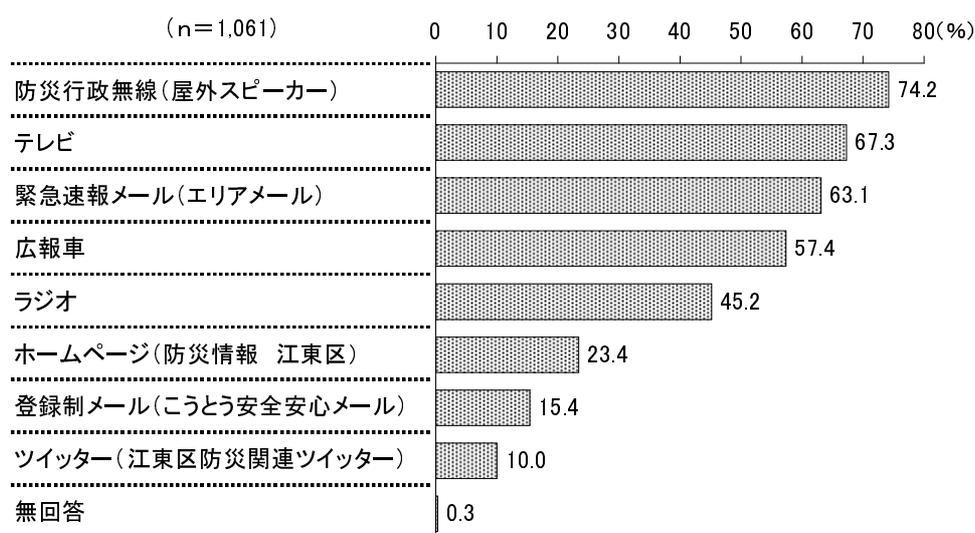
○災害時に閲覧したい防災ホームページの情報を聞いたところ、「ライフライン情報」(58.4%)が6割近くで最も多く、次いで「避難所・避難場所情報」(43.5%)、「地震(余震)・気象情報」(43.2%)と続いている。

(6) 入手しやすい緊急情報

◇「防災行政無線(屋外スピーカー)」が7割台半ば

問9 区内に災害による危険が迫り、避難の必要がある場合には、区から「避難勧告」などが発令されます。

本区では、以下の方法でこれらの情報を伝達することを予定していますが、あなたが実際に避難勧告などの緊急情報を受け取る場合、どの方法が入手しやすいと感じますか。次の中から5つまで選んでください。

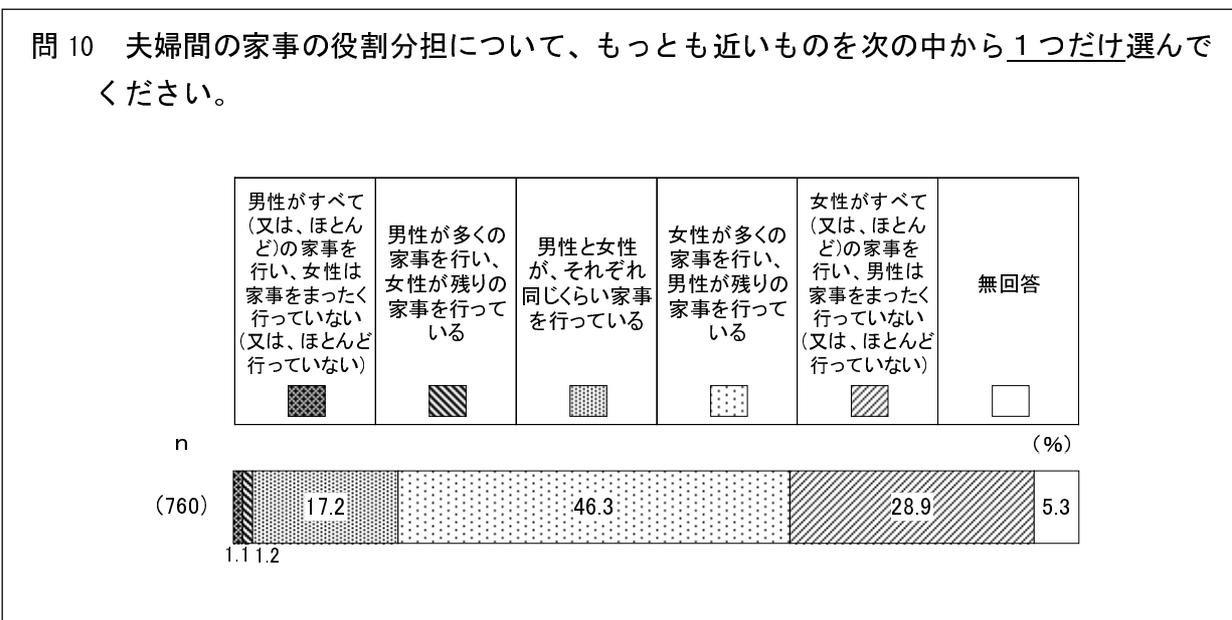


○災害による危険が迫った際に入手しやすい緊急情報を聞いたところ、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(74.2%)が7割台半ばで最も多く、次いで「テレビ」(67.3%)、「緊急速報メール(エリアメール)」(63.1%)、「広報車」(57.4%)と続いている。

3 男女共同参画

(1) 夫婦間の家事の役割分担

◇「女性が多くの家事を行い、男性が残りの家事を行っている」が4割台半ば

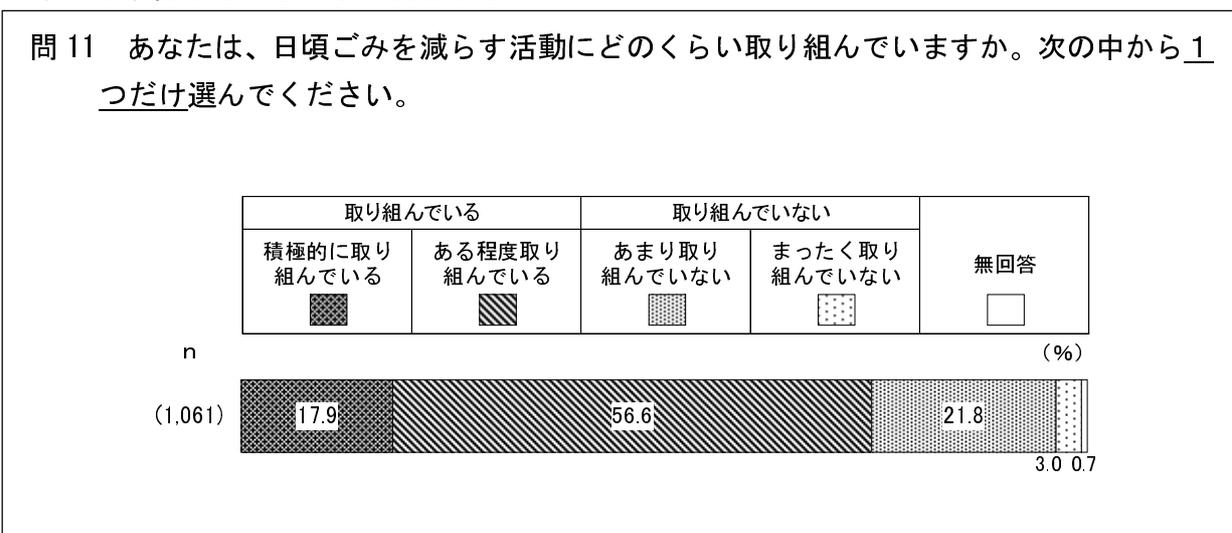


○夫婦間の家事の役割分担について聞いたところ、「女性が多くの家事を行い、男性が残りの家事を行っている」(46.3%)が4割台半ばで最も多くなっている。

4 ごみ・リサイクル

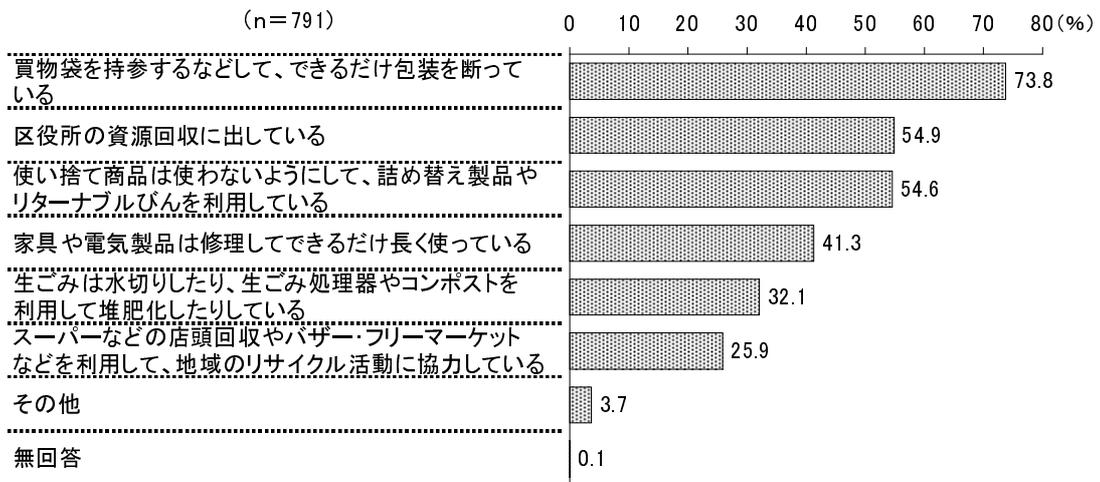
(1) ごみを減らす活動の取り組み状況

◇《取り組んでいる》は7割台半ば



○日頃ごみを減らす活動にどのくらい取り組んでいるか聞いたところ、「積極的に取り組んでいる」(17.9%)と「ある程度取り組んでいる」(56.6%)の2つを合わせた《取り組んでいる》(74.5%)は7割台半ばとなっている。

【ごみを減らす活動の取り組み内容（複数回答）】



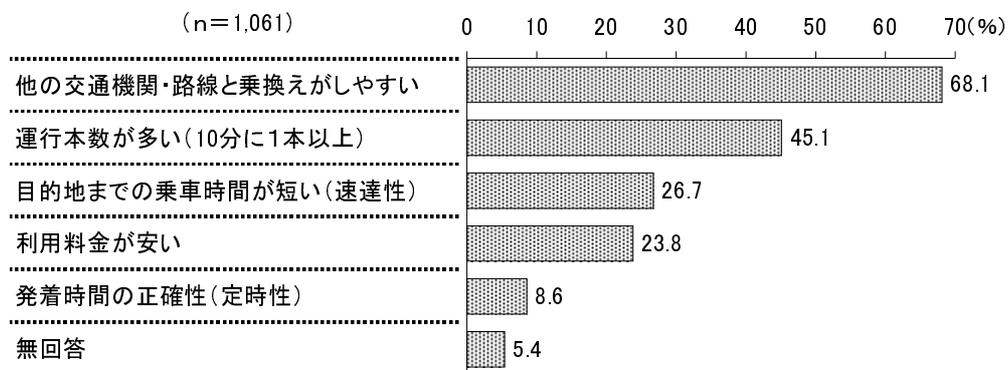
○ごみを減らす活動の取り組み内容を聞いたところ、「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」（73.8%）が7割を超え最も多く、次いで「区役所の資源回収に出している」（54.9%）、「使い捨て商品は使わないようにして、詰め替え製品やリターナブルびんを利用している」（54.6%）と続いている。

5 南北交通

（1）南北を結ぶ公共交通に求めるもの

◇「他の交通機関・路線と乗換えがしやすい」が7割近く

問 12 区では南北を結ぶ公共交通の充実を重点課題として位置づけ、有楽町線の延伸（豊洲－住吉間）や、バス路線の拡充等を検討しています。あなたが南北を結ぶ公共交通に求めるものを、次の中から2つまで選んでください。

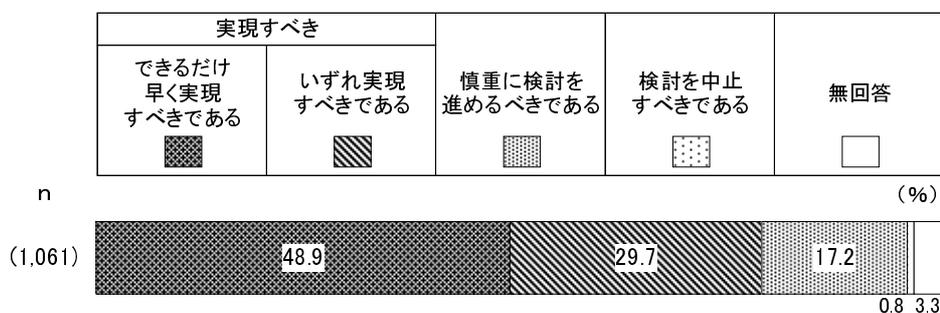


○南北を結ぶ公共交通に求めるものを聞いたところ、「他の交通機関・路線と乗換えがしやすい」（68.1%）が7割近くで最も多く、次いで「運行本数が多い(10分に1本以上）」（45.1%）、「目的地までの乗車時間が短い（速達性）」（26.7%）と続いている。

(2) 有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業についての考え

◇《実現すべき》が8割近く

問13 区では、南北移動の利便性向上、東西線の混雑緩和などが期待される有楽町線の延伸(豊洲～住吉間)の早期実現を目指しています。あなたは有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業についてどのように考えていますか。次の中から1つだけ選んでください。



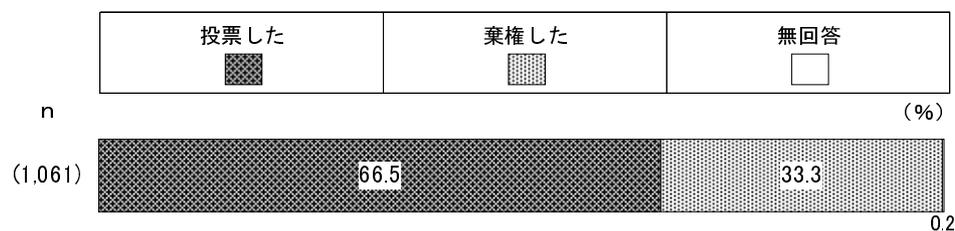
○有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業についての考えを聞いたところ、「できるだけ早く実現すべきである」(48.9%)と「いずれ実現すべきである」(29.7%)の2つを合わせた《実現すべき》(78.6%)が8割近くとなっている。

6 選挙

(1) 江東区議会議員・江東区長選挙の投票の有無

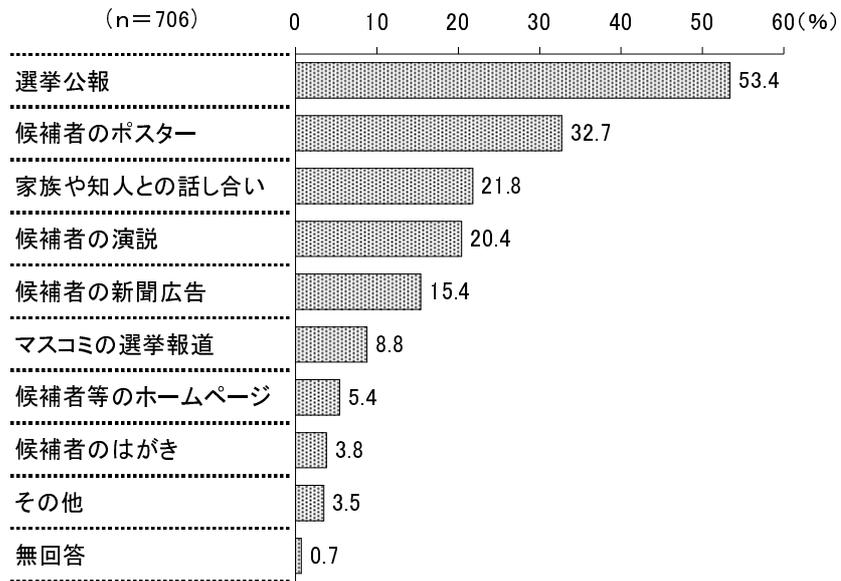
◇「投票した」は7割近く

問14 平成27年4月26日は、江東区議会議員・江東区長選挙の投票日でしたが、あなたは投票しましたか。次の中から1つだけ選んでください。



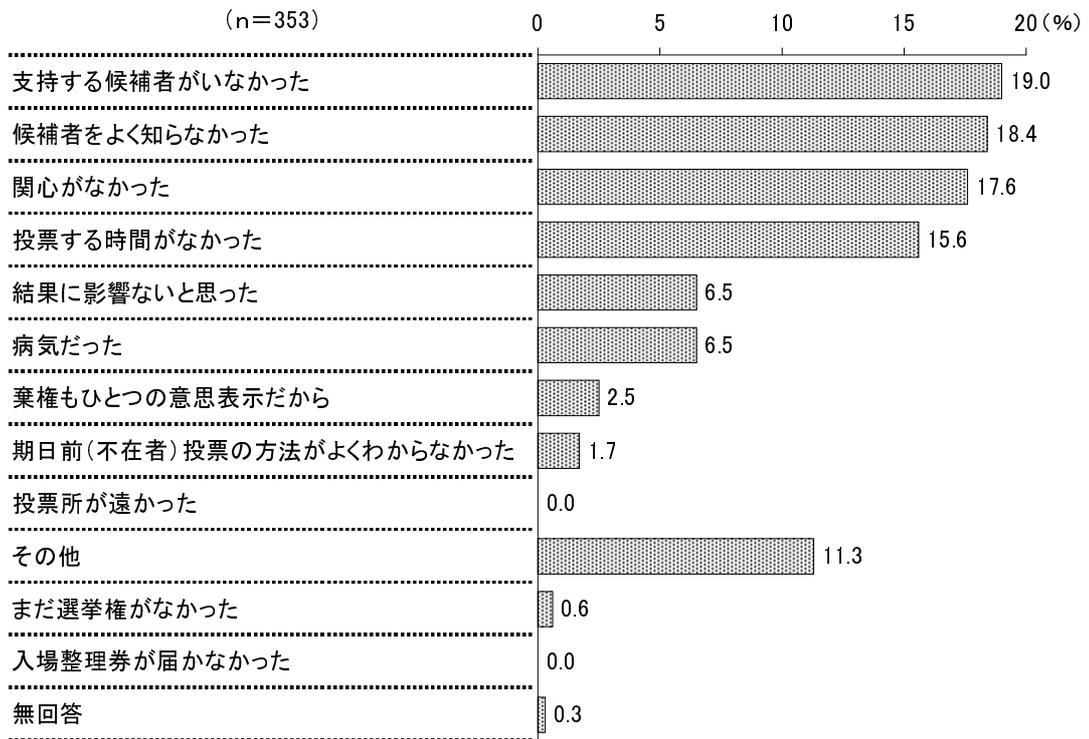
○平成27年4月に行われた江東区議会議員・江東区長選挙に投票したか聞いたところ、「投票した」(66.5%)は7割近くとなっている。なお、実際の江東区議会議員選挙の投票率は46.38%であった。

【候補者を選ぶのに役立ったもの（複数回答）】（2つ以内で回答）



○平成 27 年 4 月に行われた江東区議会議員・江東区長選挙に「投票した」と答えた方（706 人）に、候補者を選ぶのに役立ったものは何か聞いたところ、「選挙公報」（53.4%）が 5 割を超え最も多く、次いで「候補者のポスター」（32.7%）、「家族や知人との話し合い」（21.8%）、「候補者の演説」（20.4%）と続いている。

【棄権理由】

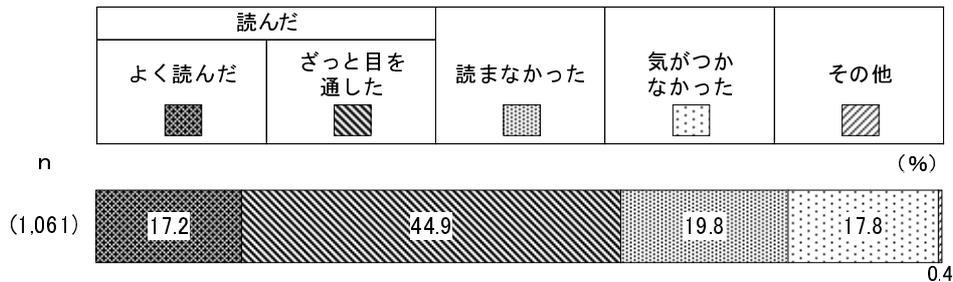


○平成 27 年 4 月に行われた江東区議会議員・江東区長選挙に「棄権した」と答えた方 (353 人) に、その理由を聞いたところ、「支持する候補者がいなかった」(19.0%) がほぼ 2 割で最も多く、次いで「候補者をよく知らなかった」(18.4%)、「関心がなかった」(17.6%)、「投票する時間がなかった」(15.6%) と続いている。

(2) 「選挙公報」の閲読状況

◇「読んだ」は6割を超える

問15 区の選挙管理委員会では、江東区議会議員・江東区長選挙の「選挙公報」を各戸配布し、また、区内各施設や区内各駅に公報スタンドを設置しましたが、あなたはお読みになりましたか。次の中から1つだけ選んでください。



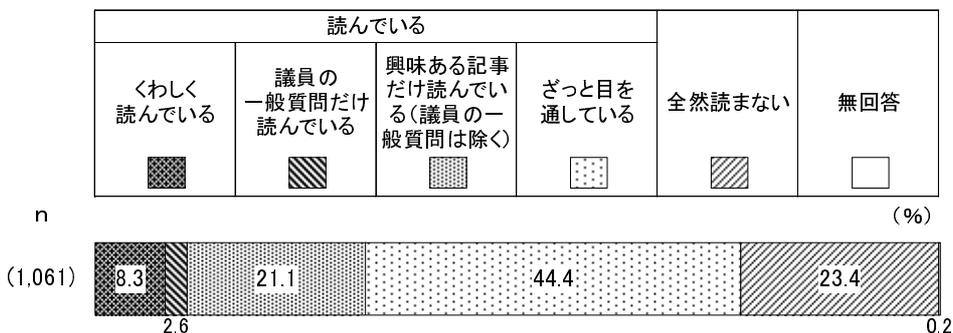
○江東区議会議員・江東区長選挙の「選挙公報」を読んだか聞いたところ、「よく読んだ」(17.2%)と「ざっと目を通した」(44.9%)の2つを合わせた「読んだ」(62.1%)は6割を超えている。「読まなかった」(19.8%)は2割、「気がつかなかった」(17.8%)は2割近くとなっている。

7 区議会

(1) 「こうとう区議会だより」の閲読状況

◇「読んでいる」が7割台半ば

問16 「こうとう区議会だより」は全世帯の方にお届けしていますが、どのくらい読んでいますか。次の中から1つだけ選んでください。

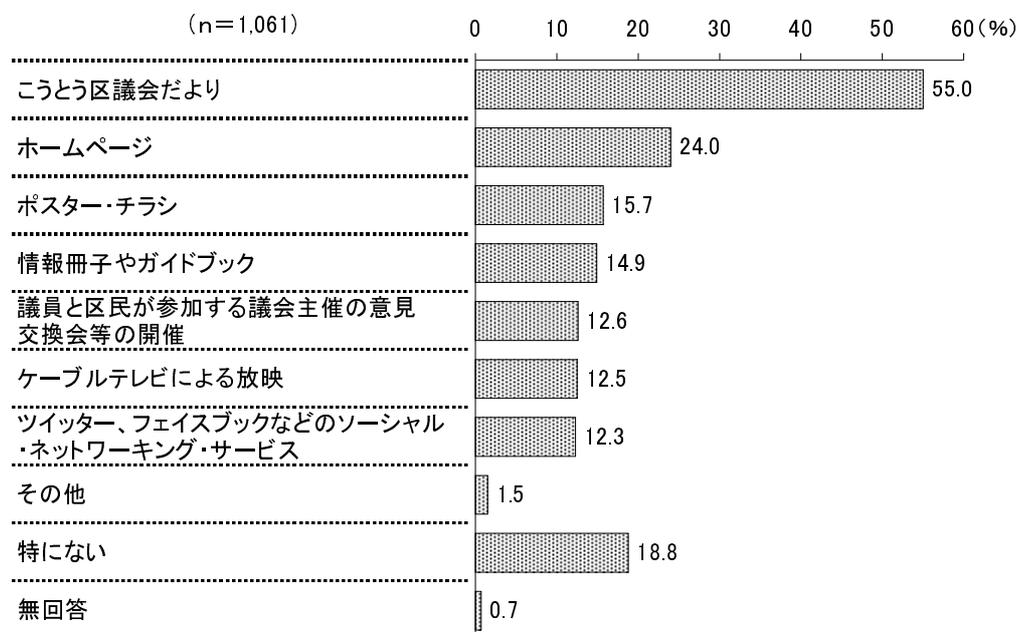


○「こうとう区議会だより」をどのくらい読んでいるか聞いたところ、「くわしく読んでいる」(8.3%)、「議員の一般質問だけ読んでいる」(2.6%)、「興味ある記事だけ読んでいる(議員の一般質問は除く)」(21.1%)、「ざっと目を通している」(44.4%)の4つを合わせた「読んでいる」(76.4%)が7割台半ばとなっている。

(2) 充実・導入してほしい議会情報の発信媒体

◇「こうとう区議会だより」が5割台半ば

問 17 区議会では、より開かれた議会の実現を目指しています。議会情報の発信媒体や方法として、充実・導入を求めるものは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



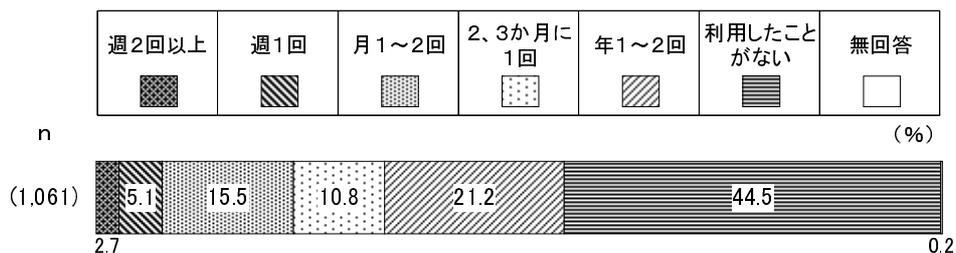
○充実・導入してほしい議会情報の発信媒体を聞いたところ、「こうとう区議会だより」(55.0%)が5割台半ばで最も多く、次いで「ホームページ」(24.0%)、「ポスター・チラシ」(15.7%)、「情報冊子やガイドブック」(14.9%)と続いている。

8 図書館

(1) 区内図書館の利用頻度

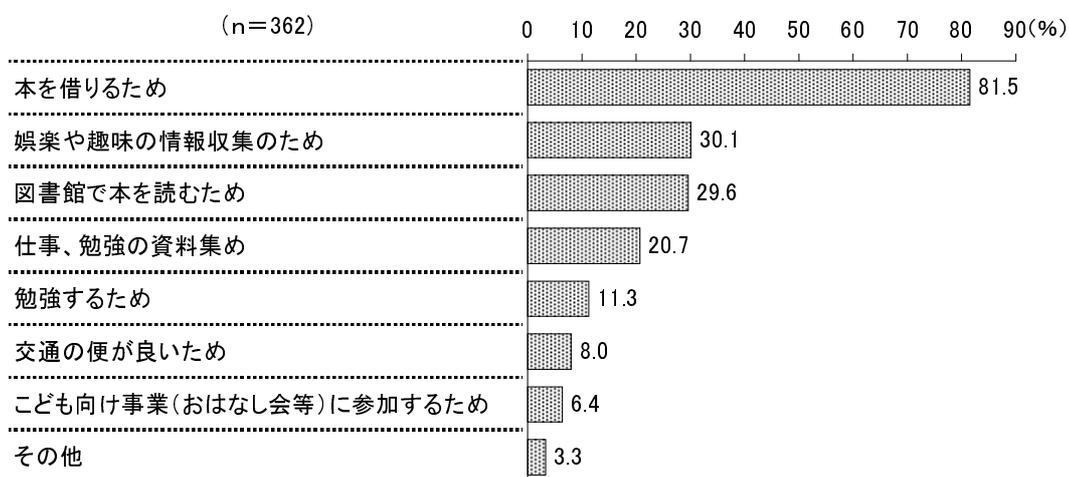
◇「年1～2回」が2割を超える

問18 区では、図書館における地域の読書活動を推進することにより、誰もが利用しやすい生涯学習の機会を提供することを目指しています。あなたの区内図書館の利用頻度について、もっとも近いものを次の中から1つだけ選んでください。



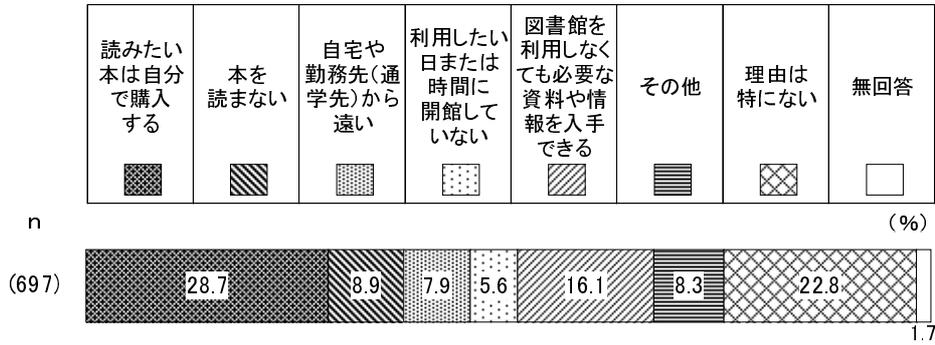
○区内図書館の利用頻度を聞いたところ、「年1～2回」(21.2%)が2割を超えている。一方、「利用したことがない」(44.5%)は4割台半ばとなっている。

【図書館を利用する理由（複数回答）】



○区内図書館の利用頻度を、「週2回以上」、「週1回」、「月1～2回」、「2、3か月に1回」と答えた方(362人)に、図書館を利用する理由を聞いたところ、「本を借りるため」(81.5%)が8割を超え最も多くなっている。

【図書館を利用しない理由】



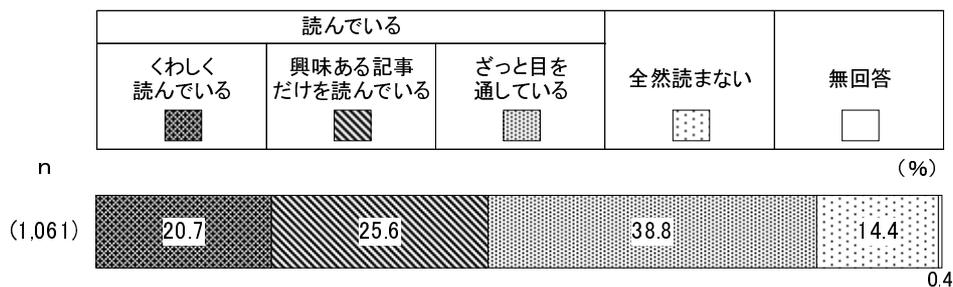
○区内図書館の利用頻度を、「年1～2回」、「利用したことがない」と答えた方(697人)に、図書館を利用しない理由を聞いたところ、「読みたい本は自分で購入する」(28.7%)が3割近くで最も多く、次いで「図書館を利用しなくても必要な資料や情報を入手できる」(16.1%)と続いている。一方、「理由は特にない」(22.8%)は2割を超えている。

9 広報

(1)「こうとう区報」の閲読状況

◇「読んでいる」が8割台半ば

問19 「こうとう区報」は全世帯の方にお届けしていますが、どのくらい読んでいますか。
次の中から1つだけ選んでください。

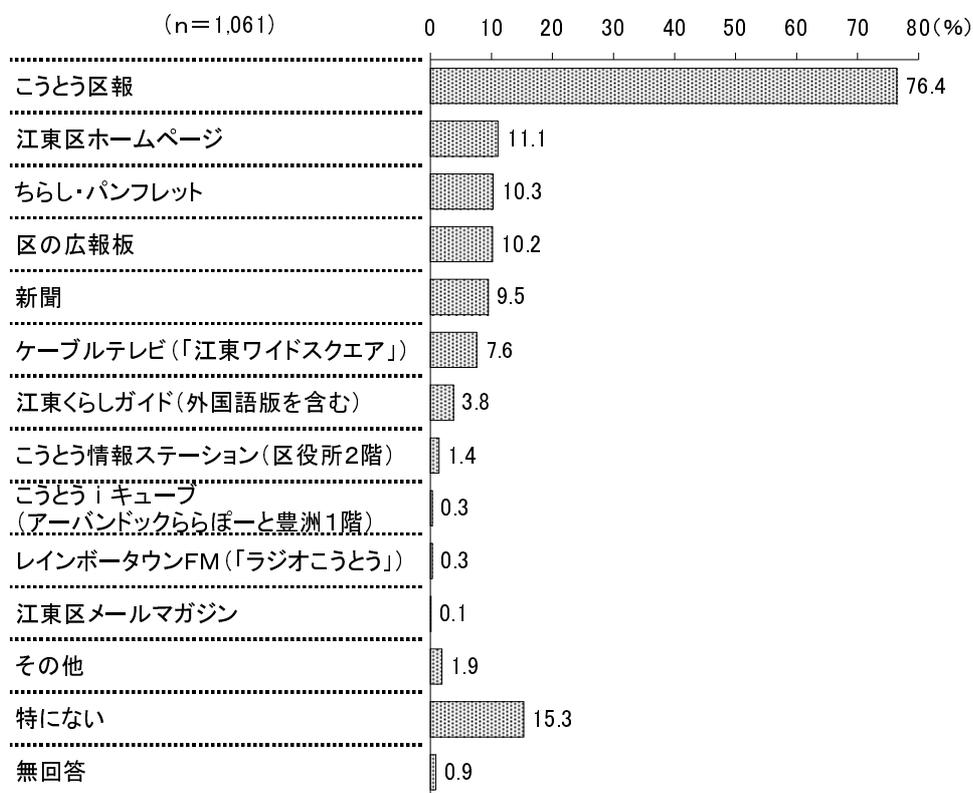


○「こうとう区報」をどのくらい読んでいますか聞いたところ、「くわしく読んでいる」(20.7%)、「興味ある記事だけを読んでいる」(25.6%)、「ざっと目を通している」(38.8%)の3つを合わせた「読んでいる」(85.1%)が8割台半ばとなっている。

(2) 区の仕事や行事の認知媒体

◇「こうとう区報」が7割台半ば

問20 区の仕事や行事を何で知りましたか。次の中から該当するものをすべて選んでください。

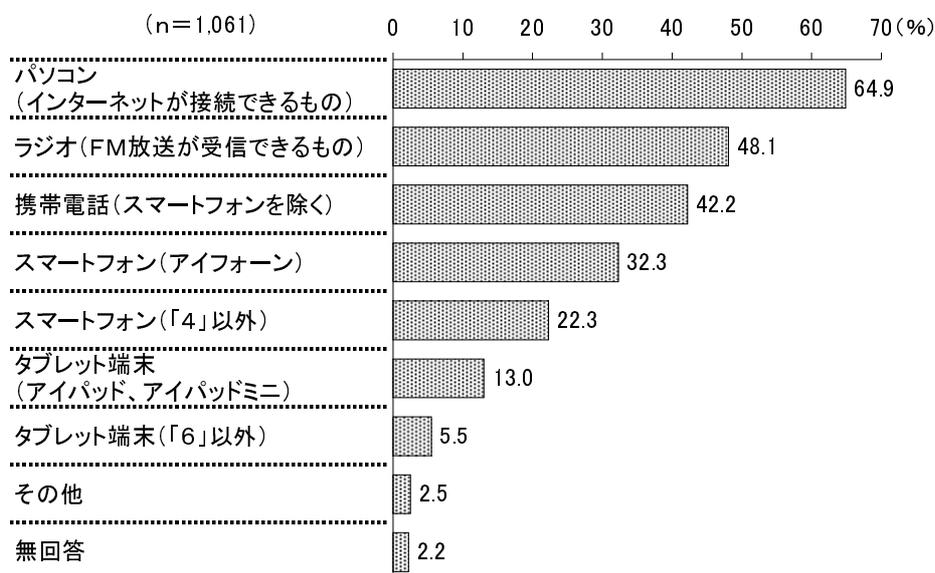


○区の仕事や行事の情報を何から得ているか聞いたところ、「こうとう区報」(76.4%)が7割台半ばで最も多く、次いで「江東区ホームページ」(11.1%)、「ちらし・パンフレット」(10.3%)、「区の広報板」(10.2%)、「新聞」(9.5%)と続いている。

(3) 情報を収集するための機器について持っているもの

◇「パソコン（インターネットが接続できるもの）」が6割台半ば

問 21 情報を収集するための機器について何を持っていますか。次の中から持っているものをすべて選んでください。

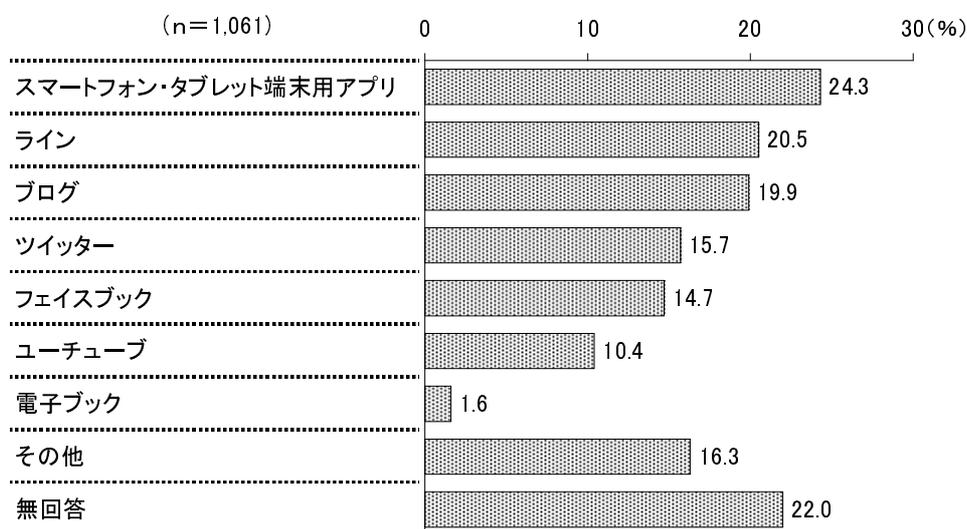


○情報を収集するための機器について何を持っているか聞いたところ、「パソコン（インターネットが接続できるもの）」(64.9%) が6割台半ばで最も多く、次いで「ラジオ（FM放送が受信できるもの）」(48.1%)、「携帯電話（スマートフォンを除く）」(42.2%) と続いている。

(4) 区の情報を収集するために必要なインターネット上のサービス

◇「スマートフォン・タブレット端末用アプリ」が2割台半ば

問 22 区の情報を収集するために、今後必要だと思うインターネット上のサービスはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

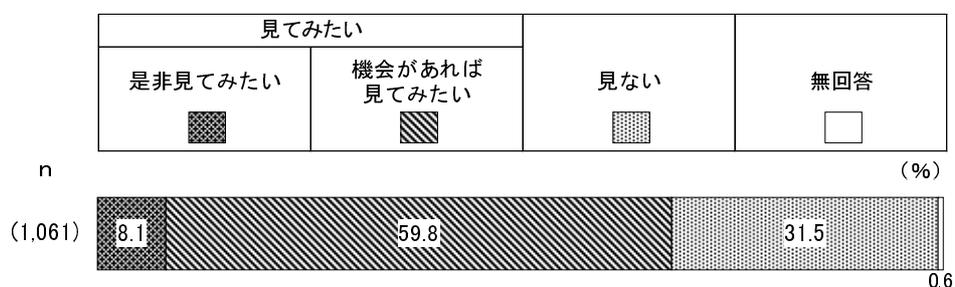


○区の情報を収集するために必要なインターネット上のサービスを聞いたところ、「スマートフォン・タブレット端末用アプリ」(24.3%)が2割台半ばで最も多く、次いで「ライン」(20.5%)、「ブログ」(19.9%)、「ツイッター」(15.7%)と続いている。

(5) 区政情報や区内のイベント・施設情報を動画や映像で見たいか

◇《見たい》は7割近く

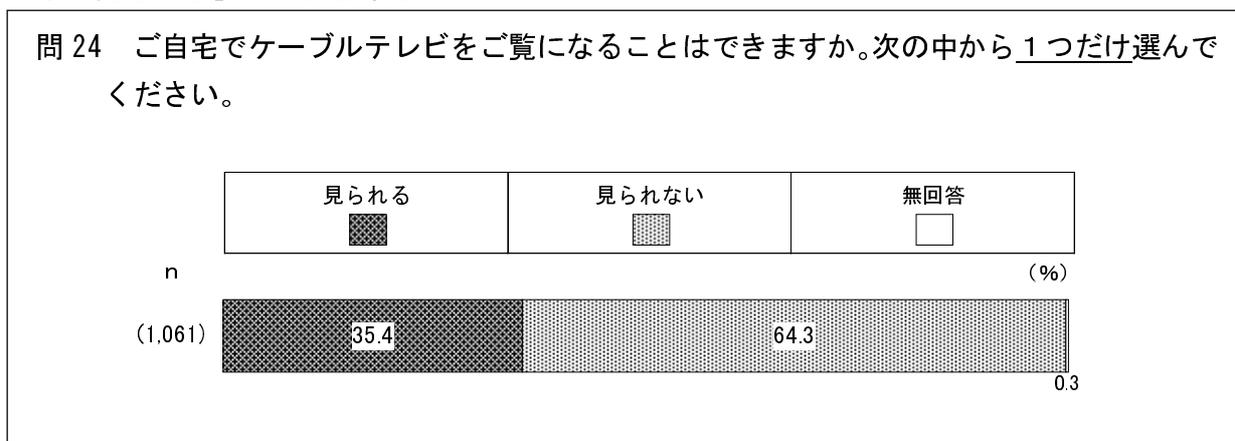
問 23 区政情報や区内のイベント・施設情報については、こうとう区報でもお知らせしていますが、区の新たな取り組み、イベントの様子、施設の利用方法や設備などについて、記事だけでなく動画や映像でも見たいですか。次の中から1つだけ選んでください。



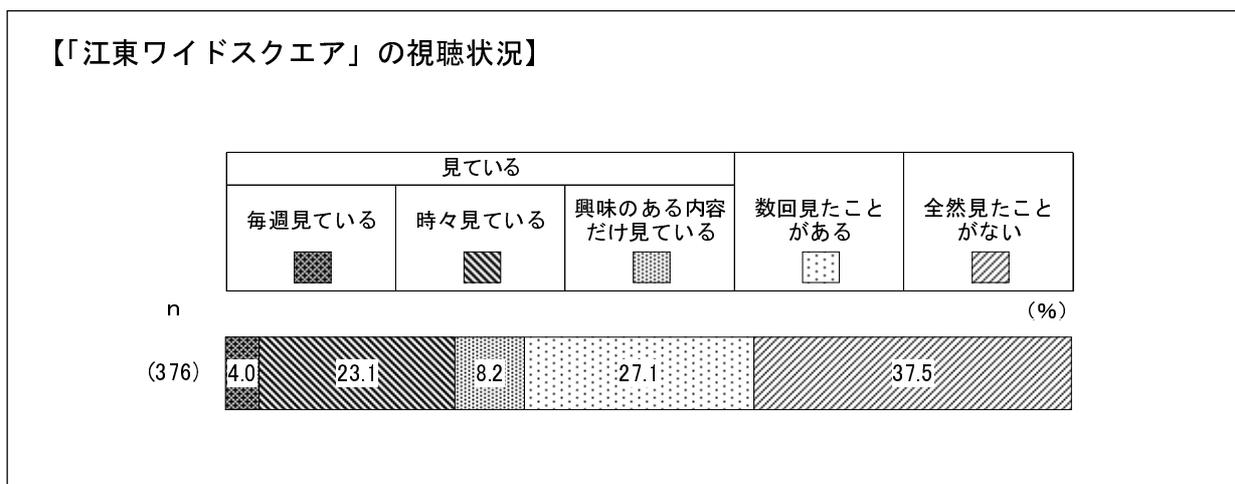
○区政情報や区内のイベント・施設情報を動画や映像で見たいか聞いたところ、「是非見たい」(8.1%)と「機会があれば見たい」(59.8%)の2つを合わせた《見たい》(67.9%)が7割近くとなっている。一方、「見ない」(31.5%)は3割を超えている。

(6) ケーブルテレビの視聴の可否

◇「見られる」が3割台半ば

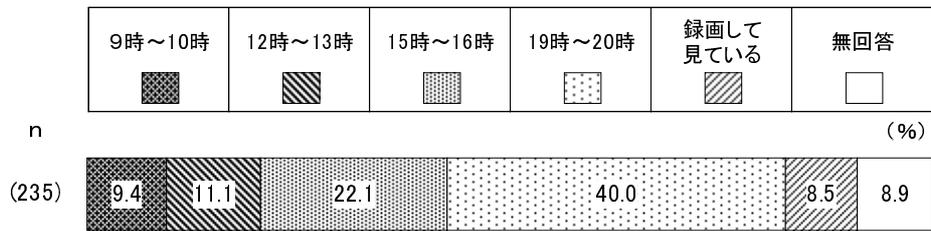


○自宅でケーブルテレビを見ることができると聞いたところ、「見られる」(35.4%)は3割台半ば、「見られない」(64.3%)が6割台半ばとなっている。



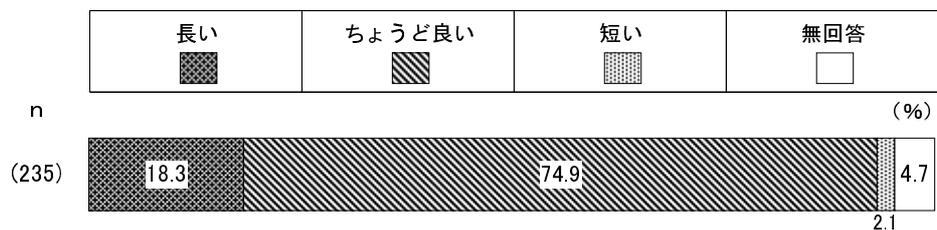
○「江東ワイドスクエア」をどれくらい視聴しているか聞いたところ、「毎週見ている」(4.0%)、「時々見ている」(23.1%)、「興味のある内容だけ見ている」(8.2%)の3つを合わせた「見ている」(35.3%)が3割台半ばとなっている。

【見ることが多い時間帯】



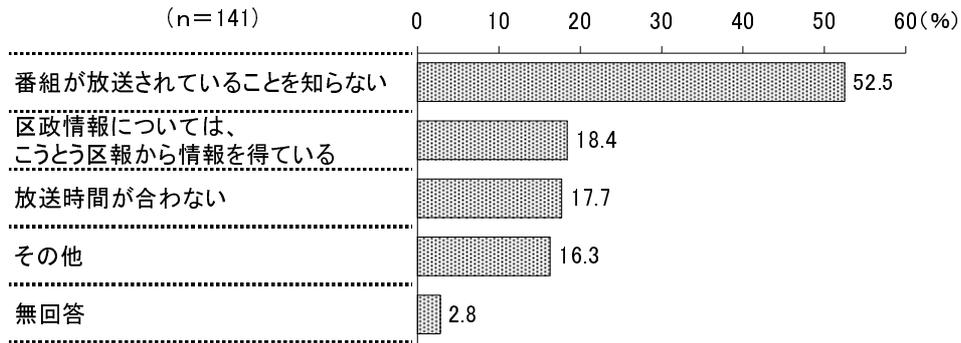
- 「江東ワイドスクエア」をどの時間帯に見ることが多いか聞いたところ、「19時～20時」(40.0%)が4割で最も多く、次いで「15時～16時」(22.1%)、「12時～13時」(11.1%)と続いている。

【番組の長さ】



- 「江東ワイドスクエア」の番組の長さは適当か聞いたところ、「ちょうど良い」(74.9%)が7割台半ばで最も多くなっている。また、「長い」又は「短い」と答えた方の希望する番組の長さをみると、「長い」(18.3%)と答えた方の平均は30.2分となっている。

【視聴しない理由（複数回答）】

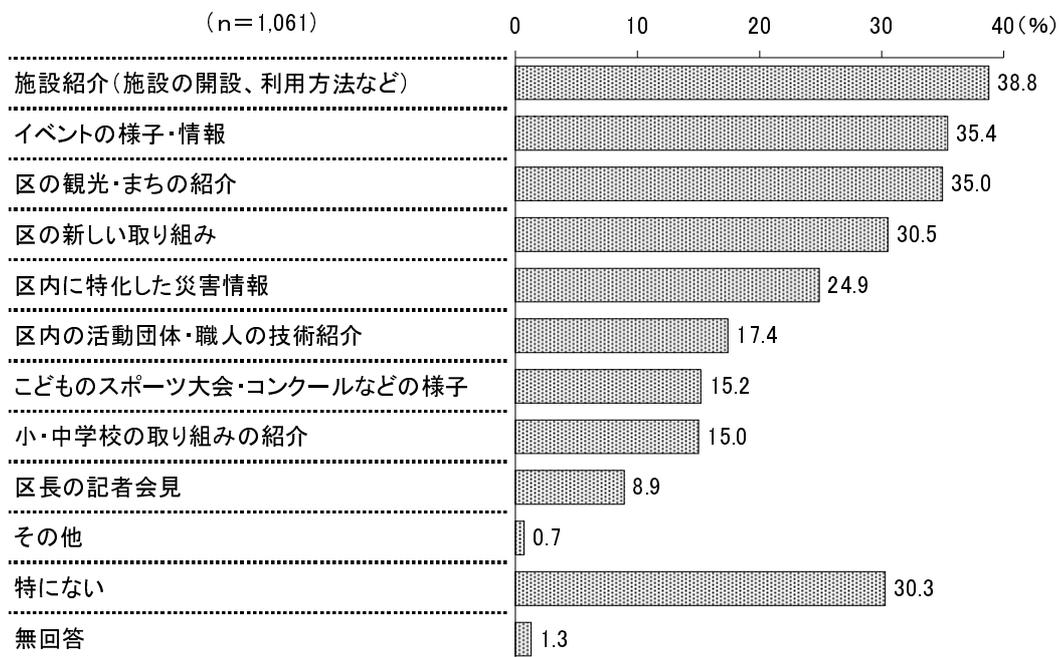


○「江東ワイドスクエア」を見ない理由を聞いたところ、「番組が放送されていることを知らない」（52.5%）が5割を超え最も多くなっている。

（7）「江東ワイドスクエア」で興味のある内容

◇「施設紹介（施設の開設、利用方法など）」が4割近く

問 25 「江東ワイドスクエア」では、区政情報や、区内のイベント情報やその様子について、放送しています。どのような内容に興味がありますか。次の中から該当するものをすべて選んでください。

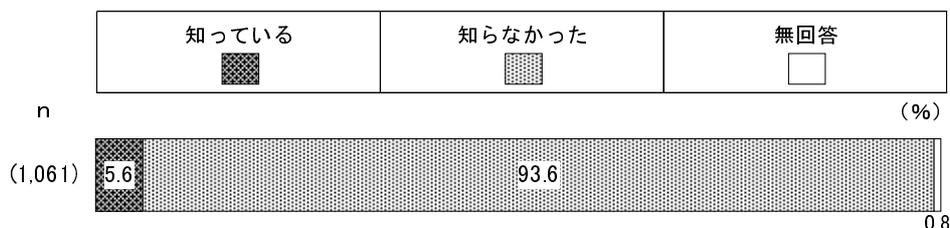


○「江東ワイドスクエア」で興味のある内容を聞いたところ、「施設紹介（施設の開設、利用方法など）」（38.8%）が4割近くで最も多く、次いで「イベントの様子・情報」（35.4%）、「区の観光・まちの紹介」（35.0%）、「区の新しい取り組み」（30.5%）と続いている。

(8) 番組DVD貸出や区ホームページでの動画配信の認知状況

◇「知らなかった」が9割を超える

問 26 番組を見逃してしまったり、ケーブルテレビが見られなかったりする方のために、番組DVDの貸出や、区ホームページで動画配信を行っていることを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

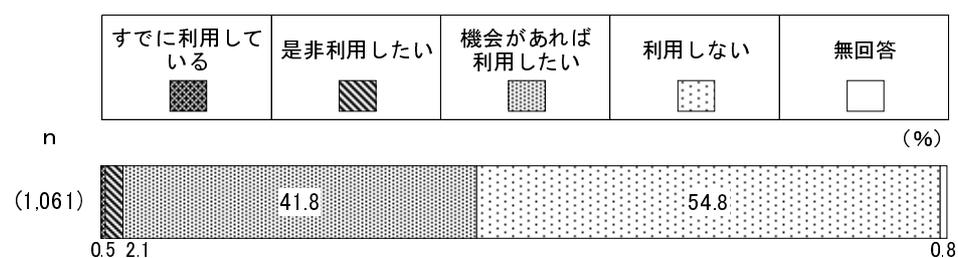


○番組DVDの貸出や、区ホームページで動画配信を行っていることを知っているか聞いたところ、「知っている」(5.6%)は1割未満、「知らなかった」(93.6%)が9割を超えている。

(9) 番組DVD貸出や区ホームページでの動画配信の利用希望

◇「機会があれば利用したい」が4割を超える

問 27 番組DVDの貸出や、区ホームページの動画配信を利用したいですか。次の中から1つだけ選んでください。



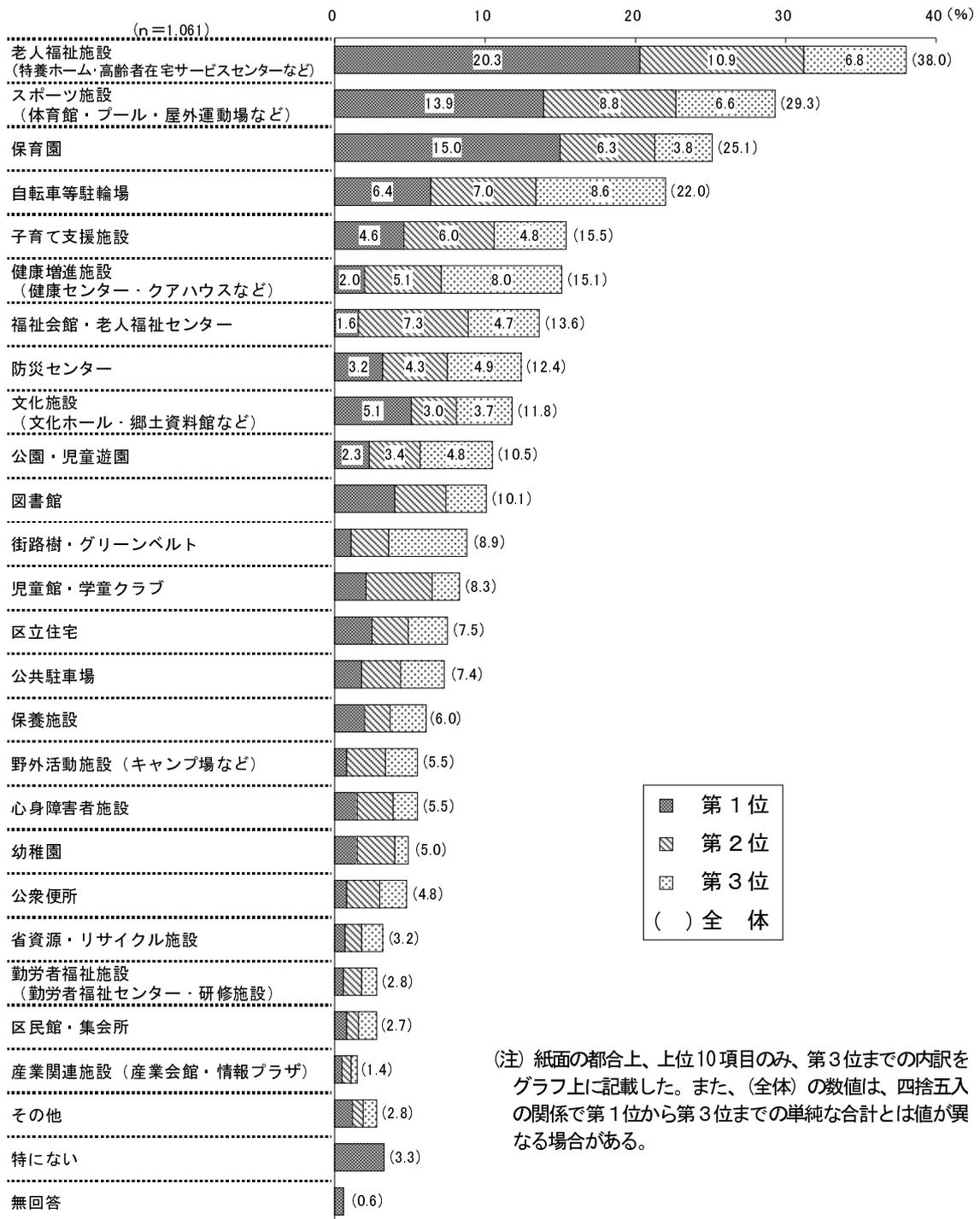
○番組DVDの貸出や、区ホームページの動画配信を利用したいか聞いたところ、「機会があれば利用したい」(41.8%)が4割を超えている。一方、「利用しない」(54.8%)は5割台半ばとなっている。

10 充実すべき施設

(1) 充実すべき施設

◇「老人福祉施設（特養ホーム・高齢者在宅サービスセンターなど）」が4割近く

問 28 今後、区でさらにどのような施設を充実させていくべきだと思いますか。3つまで選んで順位をつけて、番号を記入してください。



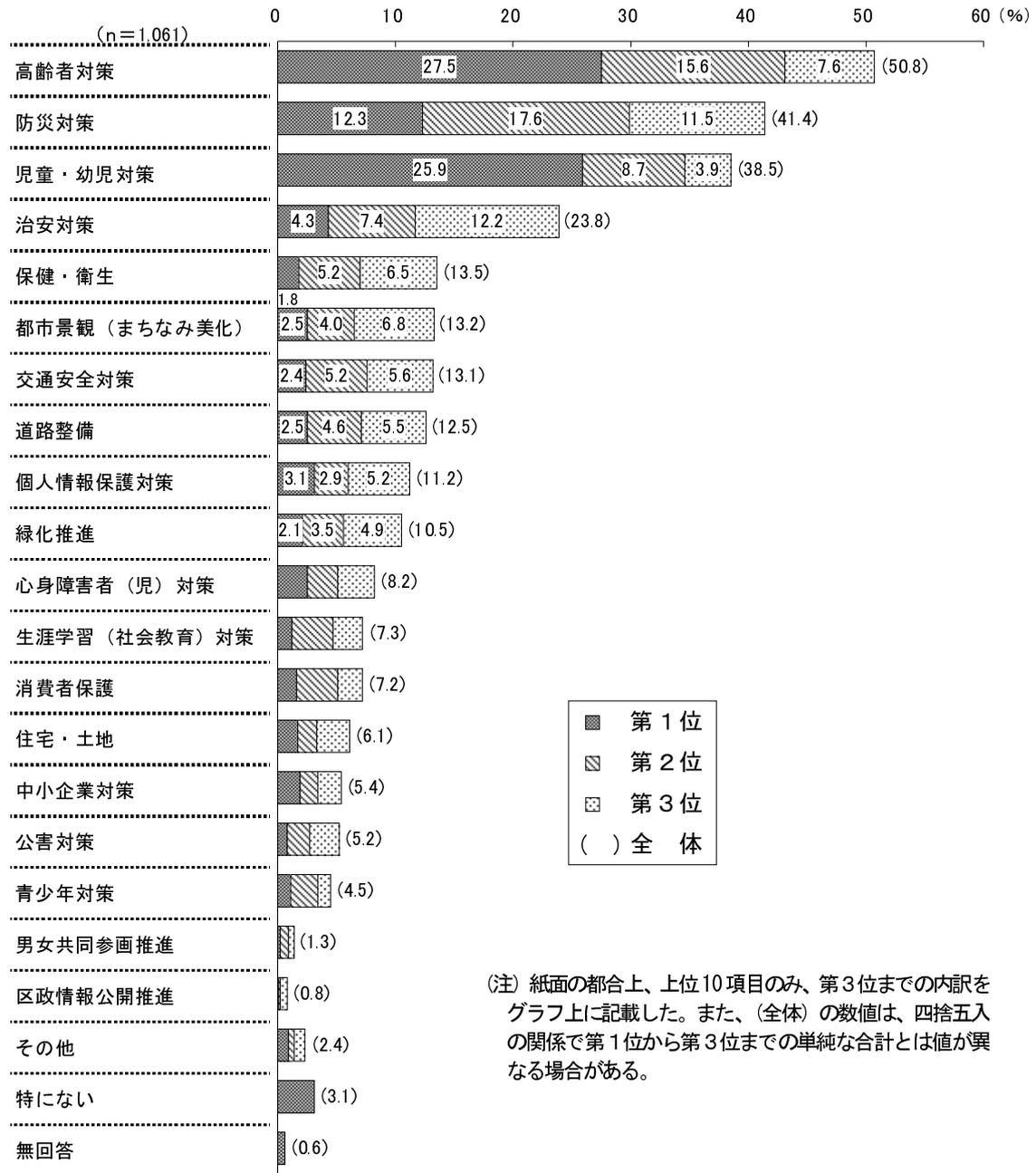
○どのような施設を充実するべきだと思うかを、第1位から第3位までを累計した「全体」でみると、「老人福祉施設（特養ホーム・高齢者在宅サービスセンターなど）」(38.0%)が4割近くで最も多くなっている。

11 施策への要望

(1) 力を入れてほしい施策

◇「高齢者対策」がほぼ5割

問 29 次の項目の中から、あなたが区に対して特に力を入れてほしいものを、3つまで選んで順位をつけて、番号を記入してください。



○区に対して特に力を入れてほしいものを、第1位から第3位までを累計した《全体》で見ると、「高齢者対策」(50.8%)がほぼ5割で最も多く、次いで「防災対策」(41.4%)、「児童・幼児対策」(38.5%)、「治安対策」(23.8%)と続いている。